

---

**成田国際空港と羽田空港の  
利用状況に関するアンケート  
調査結果及び提言**

---

**2012年3月**

**株式会社ちばぎん総合研究所**

# 目 次

1.	調査概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査方法	1
2.	調査結果（要旨）	3
(1)	アンケート調査結果	3
(2)	成田国際空港の利用促進に向けて取り組むべきこと[提言]	5
3.	調査結果（詳細）	6
(1)	国際空港利用実態調査	6
1)	回答者の属性	6
2)	空港の利用状況	10
①	国際線の利用状況	10
②	空港利用者に占める観光客の割合	19
③	成田国際空港の利用状況	20
(2)	成田国際空港・羽田空港利用実態調査	28
1)	回答者の属性	28
2)	成田国際空港の利用状況	31
①	成田国際空港までのアクセス	31
②	成田国際空港の利用目的	35
③	成田国際空港の航空需要が羽田空港にシフトする可能性	37
a.	今後の利用意向	37
b.	羽田空港を利用する理由	40
c.	羽田空港の利用意向が強い就航都市	42
3)	羽田空港の利用状況	43
①	羽田空港へのアクセス	43
②	成田国際空港との比較	44
③	羽田空港の利用目的	46
④	羽田空港を利用した理由	48

## 1. 調査概要

---

### (1) 調査目的

本調査は、羽田空港の再国際化から約1年が経過した時点における、成田国際空港と羽田空港の利用者像（居住地・職業・年齢など）を明らかにするとともに、2013年度に予定されている羽田空港の国際線拡充に伴う利用者の両空港の利用に関する意向などを調査し、今後の成田国際空港の利用促進を図るための基礎資料とするために実施した。

### (2) 調査方法

#### 1) 調査期間

2011年11月19日（土）～20日（日）

#### 2) 調査方法

インターネットによるウェブ・アンケート調査（ウェブ・アンケート実施会社に登録しているモニターを対象に、インターネットによるアンケート調査を実施）

### 3) 調査概要及び調査対象者

#### ① 国際空港利用実態調査

全国47都道府県に居住する20歳以上の男女11,838名を対象に、国際空港の利用実態を調査する。

#### ② 成田国際空港・羽田空港利用実態調査

国際空港利用実態調査の回答者のうち、過去1年間に成田国際空港及び羽田空港の国際線を利用したことのある20歳以上の男女2,000名（成田国際空港の利用者1,000名、羽田空港の利用者1,000名）を対象に、両港の利用実態を調査する。

#### 4) ウェブ・アンケート実施会社

株式会社 クロスマーケティング

#### 5) 設問数

13問（属性含む）

## 6) 調査項目

	ジャンル	設問
スクリーニング調査	属性	① 性別
		② 年齢層
		③ 居住地
		④ 職業
		⑤ 会社の所在地[会社員のみ]
	過去1年間の空港の利用状況	⑥ -1 成田国際空港の利用状況
		⑥ -2 羽田空港の利用状況
		⑥ -3 関西国際空港の利用状況
		⑥ -4 中部国際空港の利用状況
		⑥ -5 その他空港の利用状況
本調査	成田国際空港の利用状況	⑦ アクセス
		⑧ 利用目的
		⑨ 今後、羽田空港を利用する可能性(今回利用した路線が羽田空港に就航・増便があった場合)
		⑩ 羽田空港を利用する理由(問⑨で「羽田空港を利用する」と回答した者のみ)
	羽田空港の利用状況	⑪ アクセス
		⑫ 利用目的
		⑬ 利用した理由

## 7) 本報告書を読む際の注意事項

- ・ 表中の比率(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、率の合計値が100%にならない場合もある。
- ・ 複数回答については、回答者数を母数とし、比率を算出している。したがって、率の合計値が100%にならない場合もある。
- ・ 本文中の「n」は、設問に対する有効回答件数を意味する。
- ・ 本文中の「SA」、「MA」は以下の略称である。

「SA」(Single Answer)：単一回答形式(選択肢のなかから1つを選択)

「MA」(Multiple Answer)：複数回答形式(選択肢のなかから複数を選択)

## 2. 調査結果（要旨）

### (1) アンケート調査結果

#### 1) 成田国際空港の国際線利用者の特徴

##### ① 全回答者のおよそ4人に1人が利用

過去1年間に国際線を利用したことのある回答者の割合は、35.2%となっている。空港別には、「成田国際空港」が23.3%と最も高く、次いで「羽田空港(10.6%)」と「関西国際空港(10.6%)」が同水準となっており、「その他空港(6.7%)」、「中部国際空港(3.8%)」が続いている。

##### ② 居住地は約2/3が関東

居住地別にみると、「関東」が66.2%と最も高く、次いで「近畿(10.4%)」、「中部(9.8%)」などとなっている。都道府県別には、「東京都」が27.9%と最も高く、次いで「神奈川県(15.0%)」、「千葉県(9.6%)」、「埼玉県(8.4%)」となっている。

##### ③ 職業は会社員が38.5%で最多

職業別にみると、「会社員」が38.5%と最も高く、次いで「専業主婦(19.9%)」、「パート・アルバイト(9.7%)」となっている。羽田空港との比較では、羽田空港の「会社勤務」の割合は40.2%と「成田国際空港(38.5%)」よりやや高い。

##### ④ 会社員の勤務地は7割が関東、うち東京都23区内が4割

会社員の勤務地を地域別にみると、「関東」が70.0%と最も高く、次いで「近畿(10.8%)」、「中部(8.8%)」などとなっている。都道府県別にみると、「東京都」が45.3%と最も高く、うち23区内は41.5%を占めている。

##### ⑤ 利用目的は約8割が個人での旅行・観光

利用目的は、「個人での旅行・観光」が81.3%と圧倒的に高く、「ビジネス(報奨旅行含む)」は17.2%となっている。「ビジネス(報奨旅行含む)」の割合は、羽田空港(20.7%)が成田国際空港(17.2%)よりやや高い。

##### ⑥ 国内線を併用している利用者は26.5%と他空港と比べて見劣り

国際線と国内線を併用している人の割合は26.5%と、国際線のみ利用者(73.5%)より圧倒的に少ない。他空港の国際線と国内線を併用している人の割合は、「羽田空港」が70.9%と最も高く、次いで「その他空港(63.9%)」、「中部国際空港(53.0%)」、「関西国際空港(51.0%)」となっている。成田国際空港で国際線と国内線を併用している割合が5割を超えている地域は、「九州・沖縄」や「近畿」、「北海道」といった成田国際空港と1日5便以上の国内線で結ばれた遠隔地となっている。

##### ⑦ 空港までのアクセスは成田エクスプレスが40.7%で最多

空港までのアクセスは、「成田エクスプレス」が40.7%と最も多く、次いで「リムジンバス(32.4%)」、「その他電車[在来線](30.0%)」などとなっている。一方、成田国際空港一日暮里間を最速36分で結ぶ「成田スカイアクセス(2010年7月開業)」は12.6%となっている。各交通機関の利用者の居住地の割合をみると、「東京都23区」及び「埼玉県さいたま市以东」、「千葉県東葛地域」の合計では、成田スカイアクセスが49.0%と成田エクスプレス(28.4%)より高い。

## 2) 成田国際空港の国際線利用者の 53.7%が羽田空港の新規就航・増便に伴い羽田空港を利用したい意向

成田国際空港から渡航した目的地に羽田空港の路線が就航・増便した場合、次回はどちらを利用するかを聞いたところ、53.7%の回答者が「羽田空港を利用する」と回答した。一方、「成田国際空港を利用する」は13.8%、「どちらでもよい」は26.5%、「分からない」は6.0%であった。「羽田空港を利用する」意向の回答者を仔細にみると、居住地域別には「関東(56.3%)」が最も高く、とりわけ、羽田空港を既に併用したことがある「神奈川県(80.5%)」や「東京都(71.1%)」の居住者の水準の高さが目立つほか、成田空港のみを利用している「九州・沖縄(55.6%)」や「北海道(54.5%)」などの遠隔地の水準も高かった。一方、「どちらでもよい」は、年齢別には、成田空港のみを利用している「20～29歳(39.5%)」が最も高く、居住地域別には、羽田空港を併用している「群馬県(80.0%)」や「茨城県(66.7%)」など北関東の水準の高さが目立った。

「羽田空港を利用する」と回答した理由については、「空港までのアクセス利便性がよいから」が95.8%と最も高く、次いで「国際線への乗り継ぎ利便性がよいから(11.8%)」、「空港施設がきれいだから(7.8%)」、「空港サービスがよいから(2.8%)」となっている。

「羽田空港を利用する」意向が強い未就航の都市は、「グアム」が91件と最も多く、次いで「フランクフルト(65件)」、「ローマ(58件)」、「シドニー(38件)」、「サイパン(31件)」などとなっている。

## 3) 羽田空港の国際線のヘビーユーザーは「関東に勤務先がある中高年の男性サラリーマン」

羽田空港の国際線利用者の特徴を属性別にみると、職業は「会社員(40.2%)」、会社員の会社所在地は「関東(71.6%)」、年齢は「60～69歳(28.2%)」と「50～59歳(23.8%)」、性別は「男性(55.0%)」の割合が高い。

## 4) 羽田空港を利用する理由は「空港までのアクセス利便性がよいから(69.6%)」がトップ

過去1年間に羽田空港を利用した理由は、「空港までのアクセス利便性がよいから」が69.6%と最も高く、次いで「羽田空港利用のツアーだったから(22.8%)」、「国際線への乗り継ぎ利便性がよいから(15.4%)」、「空港施設がきれいだから(8.5%)」、「空港サービスがよいから(3.8%)」となっている。その他の意見として「遅い仕事の後に出発できるから(会社員)」や「目的地の空港(台北)が市街地にあるから(会社員)」、「空港までの交通費が安いから(無職)」などもみられた。

## 5) 成田国際空港の利用者に占める観光客の割合は3.5%と平均以下

空港利用者(航空旅客数+観光客)に占める観光客の割合は、中部国際空港が16.3%と圧倒的に高く、「関西国際空港(4.7%)」、「その他空港(4.1%)」が続いている。成田国際空港の観光客の割合は3.5%と「羽田空港(3.2%)」をわずかながら上回っているものの平均(4.6%)以下となっている。

## (2) 成田国際空港の利用促進に向けて取り組むべきこと[提言]

今回のアンケート調査結果をふまえ、成田空港の利用促進に向けた取り組みとして以下の4点を提言したい。

### ① 北海道や九州・沖縄など遠隔地への国内線の就航本数を増やし、国際線への乗り継ぎ利便性の向上を図ること

成田国際空港の国際線利用者で国内線も併用している人の割合は26.5%と他の国際空港と比べてかなり見劣りしている。一方、北海道や九州・沖縄地域では、国内線によるアクセス利便性に優れた羽田空港を利用したいという意向が強い。こうした遠隔地に対する国内線の充実は、国際線への乗り継ぎ利便性を高め、成田国際空港の国際線の利用促進につながる可能性が高い。

### ② 格安航空会社（LCC）への対応を急ぐこと

成田国際空港の国際線利用者の約5割は、羽田空港への新規就航・増便に伴い羽田空港を利用したい意向であり、その理由として、9割以上が羽田空港のアクセス利便性の良さをあげている。成田国際空港は、北海道、九州・沖縄などの遠隔地や北関東地域（後述）へのアクセス利便性を高めるとともに、羽田空港のアクセス面の良さに対抗できる独自の強みとして、LCCの価格優位性を前面に押し出せるよう対応を急ぐべきである。とりわけ、若年層は、海外渡航時の国際空港の志向性が強くないことから、低価格による訴求力は大きいものと考えられ、成田国際空港の利用促進に向けて積極的に対応したい年齢層といえる。

### ③ 北関東地域へのアクセス利便性をさらに高めること

成田国際空港の国際線利用者の居住地は、約7割が関東地域となっている。関東地域の内訳をみると、神奈川県や東京都の居住者は、アクセス利便性の良さから既に羽田空港を利用している割合が既に高く、今後も羽田空港を優先的に利用するものとみられる。

一方、北関東地域の各県では、成田国際空港と羽田空港のどちらを利用してもいいという意向が強く、これらの地域へのアクセス利便性をさらに高めることで、成田国際空港の国際線利用者の底上げにつなげたい。

#### 【アクセス利便性の向上策（例）】

- ・圏央道の活用（※）。
- ・成田スカイアクセスの利用者を増やすための工夫。  
（例えば、①増便、②運賃の引き下げ、③車内サービスの向上など）
- ・成田スカイアクセスの東京駅までの延伸。

※圏央道は、2014年度には茨城県・埼玉県内の各区間が開通し、常磐道及び東北道、関越道に乗り入れ可能となることから、成田空港から北関東の各地域へのアクセス利便性が高まる見込み。

### ④ 観光利用への対応を強化すること

今回の調査では、成田国際空港の利用者に占める観光客の割合が国際空港の平均以下であることが分かった。観光利用が圧倒的に高かった「中部国際空港」では、多目的ホールや展望風呂などのユニークなインフラがあることに加えて、各種イベントなどを定期的で開催して来場者の増加促進を図っている。成田国際空港もこうした観光客を誘致する取り組みを積極的に推進するとともに、セキュリティ面の条件を可能な限り緩和するなど、観光客が来場しやすい環境整備も求められる。

### 3. 調査結果（詳細）

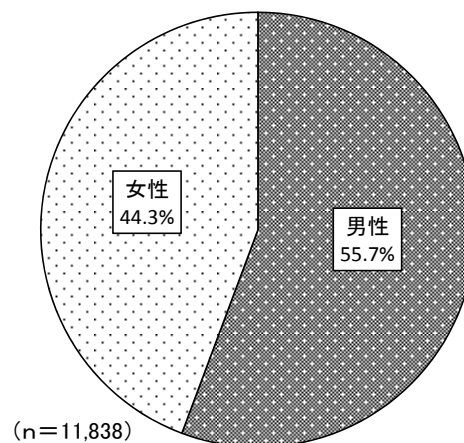
#### (1) 国際空港利用実態調査

##### 1) 回答者の属性

###### ① 性別

回答者の性別は、「男性」が 55.7%、「女性」が 44.3%となっている（図表 1）。

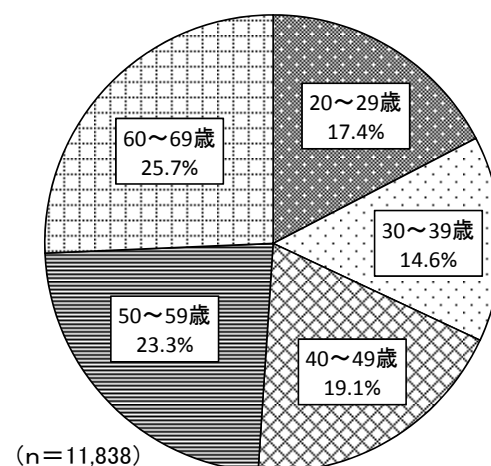
図表 1 性別(SA)



###### ② 年齢層

回答者の年齢層は、「60～69 歳」が 25.7%と最も高く、次いで「50～59 歳（23.3%）」、「40～49 歳（19.1%）」、「20～29 歳（17.4%）」、「30～39 歳（14.6%）」となっている（図表 2）。

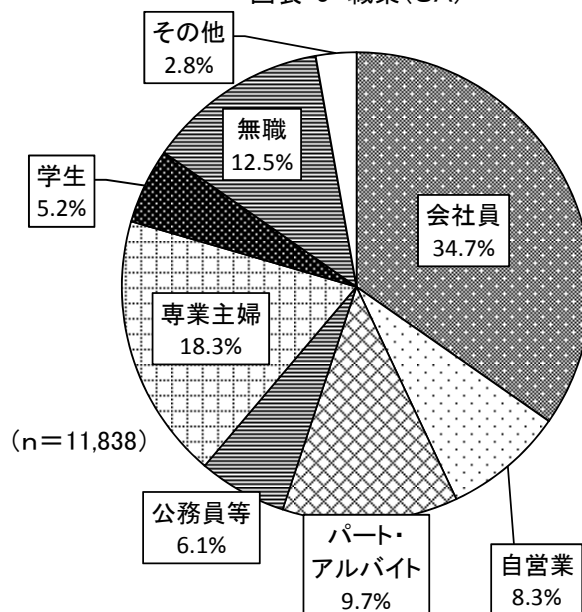
図表 2 年齢層(SA)



###### ③ 職業

回答者の職業は、「会社員」が 34.7%と最も高く、次いで「専業主婦（18.3%）」、「無職（12.5%）」、「パート・アルバイト（9.7%）」、「自営業（8.3%）」、「公務員等（6.1%）」、「学生（5.2%）」となっている（図表 3）。

図表 3 職業(SA)



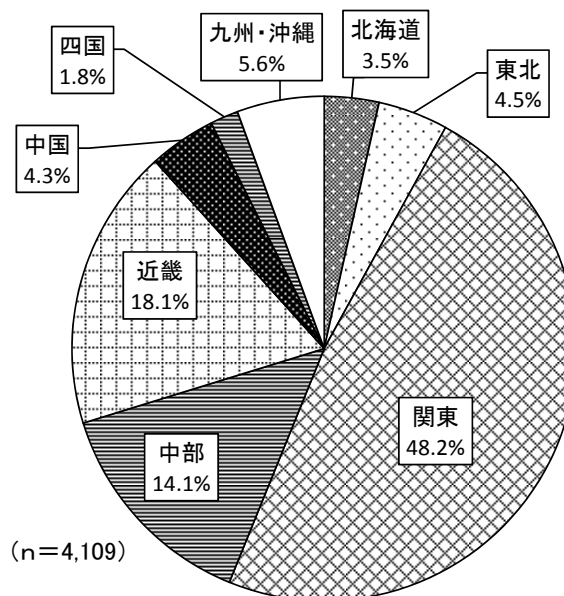


#### ④ 会社の所在地[会社員のみ]

職業を「会社員」と回答した4,109人が勤務している会社の所在地を地域別にみると、「関東」が48.2%と最も高く、次いで「近畿（18.1%）」、「中部（14.1%）」、「九州・沖縄（5.6%）」などとなっている（図表4）。

都道府県別にみると、「東京都（28.8%）」が最も高く、次いで「大阪府（9.9%）」、「神奈川県（8.3%）」、「愛知県（7.3%）」などとなっている（図表5）。

図表 4 会社が所在する地域(SA)



図表 5 会社が所在する都道府県(SA)

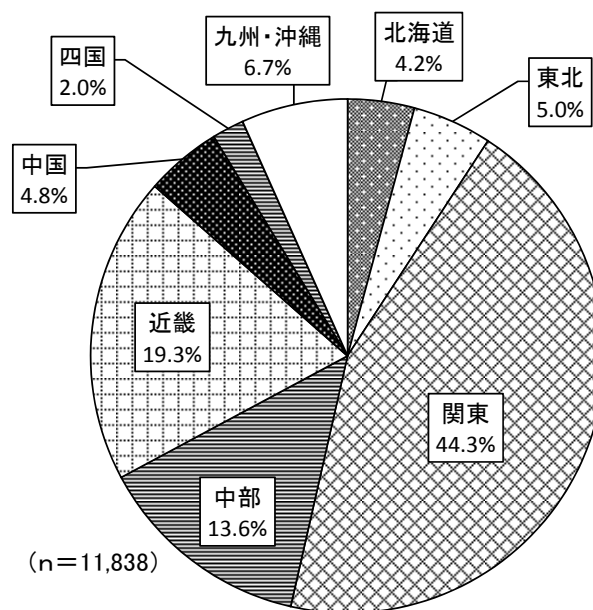
都道府県名	回答件数	割合 (%)	都道府県名	回答件数	割合 (%)
北海道	144	3.5	滋賀県	32	0.8
青森県	27	0.7	京都府	64	1.6
岩手県	27	0.7	大阪府	407	9.9
宮城県	52	1.3	兵庫県	154	3.7
秋田県	14	0.3	奈良県	26	0.6
山形県	28	0.7	和歌山県	22	0.5
福島県	38	0.9	鳥取県	5	0.1
茨城県	71	1.7	島根県	9	0.2
栃木県	57	1.4	岡山県	46	1.1
群馬県	38	0.9	広島県	97	2.4
埼玉県	139	3.4	山口県	19	0.5
千葉県	154	3.7	徳島県	13	0.3
東京都	1,183	28.8	香川県	19	0.5
神奈川県	339	8.3	愛媛県	26	0.6
新潟県	47	1.1	高知県	14	0.3
富山県	20	0.5	福岡県	102	2.5
石川県	22	0.5	佐賀県	15	0.4
福井県	18	0.4	長崎県	16	0.4
山梨県	12	0.3	熊本県	25	0.6
長野県	34	0.8	大分県	24	0.6
岐阜県	50	1.2	宮崎県	15	0.4
静岡県	74	1.8	鹿児島県	18	0.4
愛知県	301	7.3	沖縄県	14	0.3
三重県	38	0.9	合計	4,109	100.0

### ⑤ 居住地

回答者の居住地を地域別にみると、「関東」が 44.3%と最も高く、次いで「近畿(19.3%)」、「中部(13.6%)」、「九州・沖縄(6.7%)」などとなっている(図表 6)。

都道府県別にみると、「東京都」が 16.5%と最も高く、次いで「神奈川県(10.5%)」、「大阪府(7.9%)」などとなっている(図表 7)。

図表 6 居住地域(SA)



図表 7 居住地[都道府県](SA)

都道府県名	回答件数	割合 (%)	都道府県名	回答件数	割合 (%)
北海道	502	4.2	滋賀県	118	1.0
青森県	76	0.6	京都府	275	2.3
岩手県	73	0.6	大阪府	932	7.9
宮城県	200	1.7	兵庫県	594	5.0
秋田県	61	0.5	奈良県	170	1.4
山形県	72	0.6	和歌山県	63	0.5
福島県	104	0.9	鳥取県	28	0.2
茨城県	221	1.9	島根県	36	0.3
栃木県	140	1.2	岡山県	148	1.3
群馬県	112	0.9	広島県	263	2.2
埼玉県	780	6.6	山口県	94	0.8
千葉県	793	6.7	徳島県	49	0.4
東京都	1,957	16.5	香川県	68	0.6
神奈川県	1,244	10.5	愛媛県	79	0.7
新潟県	125	1.1	高知県	42	0.4
富山県	69	0.6	福岡県	379	3.2
石川県	92	0.8	佐賀県	48	0.4
福井県	42	0.4	長崎県	61	0.5
山梨県	45	0.4	熊本県	81	0.7
長野県	142	1.2	大分県	58	0.5
岐阜県	146	1.2	宮崎県	51	0.4
静岡県	249	2.1	鹿児島県	63	0.5
愛知県	703	5.9	沖縄県	53	0.4
三重県	137	1.2	合計	11,838	100.0

## 【参考】アンケート回答者と実際の人口の都道府県別割合の比較

今回のアンケート回答者と実際の人口(国勢調査)の都道府県別割合を比較すると、3大都市圏(首都圏・近畿圏・中京圏)においてアンケート回答者の割合が高くなっている(図表8)。とりわけ、今回のアンケートでは首都圏に居住している回答者の割合が高いため、アンケートの集計結果は、その点を留意してみる必要がある。

図表 8 アンケート回答者と実際の人口(国勢調査)との比較

都道府県名	アンケート回答者		国勢調査 <sup>注</sup>		差異 (ポイント) 【A-B】
	回答件数 (件)	割合(%) 【A】	人口 (人)	割合(%) 【B】	
合計	11,838	100.0	83,178,616	100.0	-
北海道	502	4.2	3,587,238	4.3	▲ 0.1
青森県	76	0.6	864,700	1.0	▲ 0.4
岩手県	73	0.6	815,665	1.0	▲ 0.4
宮城県	200	1.7	1,515,588	1.8	▲ 0.1
秋田県	61	0.5	663,975	0.8	▲ 0.3
山形県	72	0.6	709,928	0.9	▲ 0.2
福島県	104	0.9	1,254,563	1.5	▲ 0.6
茨城県	221	1.9	1,940,447	2.3	▲ 0.5
栃木県	140	1.2	1,309,749	1.6	▲ 0.4
群馬県	112	0.9	1,285,758	1.5	▲ 0.6
埼玉県	780	6.6	4,887,183	5.9	0.7
千葉県	793	6.7	4,155,011	5.0	1.7
東京都	1,957	16.5	9,075,048	10.9	5.6
神奈川県	1,244	10.5	6,139,900	7.4	3.1
新潟県	125	1.1	1,477,035	1.8	▲ 0.7
富山県	69	0.6	689,835	0.8	▲ 0.2
石川県	92	0.8	744,508	0.9	▲ 0.1
福井県	42	0.4	496,649	0.6	▲ 0.2
山梨県	45	0.4	540,834	0.7	▲ 0.3
長野県	142	1.2	1,325,229	1.6	▲ 0.4
岐阜県	146	1.2	1,318,914	1.6	▲ 0.4
静岡県	249	2.1	2,421,921	2.9	▲ 0.8
愛知県	703	5.9	4,894,255	5.9	0.1
三重県	137	1.2	1,175,623	1.4	▲ 0.3
滋賀県	118	1.0	907,468	1.1	▲ 0.1
京都府	275	2.3	1,699,685	2.0	0.3
大阪府	932	7.9	5,853,278	7.0	0.8
兵庫県	594	5.0	3,622,253	4.4	0.7
奈良県	170	1.4	902,422	1.1	0.4
和歌山県	63	0.5	618,402	0.7	▲ 0.2
鳥取県	28	0.2	360,099	0.4	▲ 0.2
島根県	36	0.3	426,717	0.5	▲ 0.2
岡山県	148	1.3	1,212,495	1.5	▲ 0.2
広島県	263	2.2	1,818,254	2.2	0.0
山口県	94	0.8	896,425	1.1	▲ 0.3
徳島県	49	0.4	486,733	0.6	▲ 0.2
香川県	68	0.6	615,251	0.7	▲ 0.2
愛媛県	79	0.7	887,434	1.1	▲ 0.4
高知県	42	0.4	464,663	0.6	▲ 0.2
福岡県	379	3.2	3,278,011	3.9	▲ 0.7
佐賀県	48	0.4	520,502	0.6	▲ 0.2
長崎県	61	0.5	873,151	1.0	▲ 0.5
熊本県	81	0.7	1,109,380	1.3	▲ 0.6
大分県	58	0.5	738,948	0.9	▲ 0.4
宮崎県	51	0.4	694,176	0.8	▲ 0.4
鹿児島県	63	0.5	1,029,956	1.2	▲ 0.7
沖縄県	53	0.4	873,357	1.0	▲ 0.6

(注)20～69歳人口(2010年10月1日時点)。

## 2) 空港の利用状況

### ① 国際線の利用状況

#### a. 全体

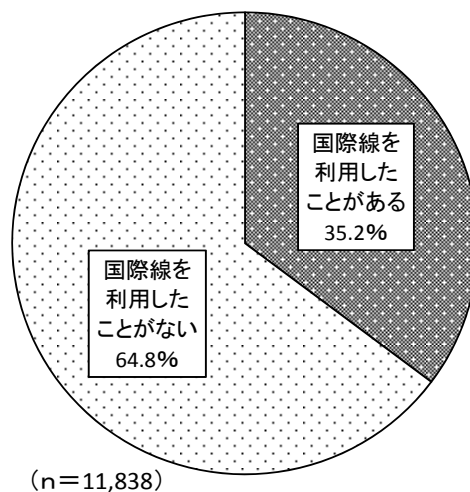
過去1年間に「国際線を利用したことがある」と回答した人は35.2%、「国際線を利用したことがない」と回答した人は64.8%であった(図表9)。

過去1年間の国際線利用者(国際線・国内線の両方を利用したことがある+国際線のみ利用したことがある)の割合をみると、「成田国際空港」が23.3%と最も高く、次いで「羽田空港(10.6%)」と「関西国際空港(10.6%)」が同水準となっており、「その他空港(6.7%)」、「中部国際空港(3.8%)」が続いている(図表10)。

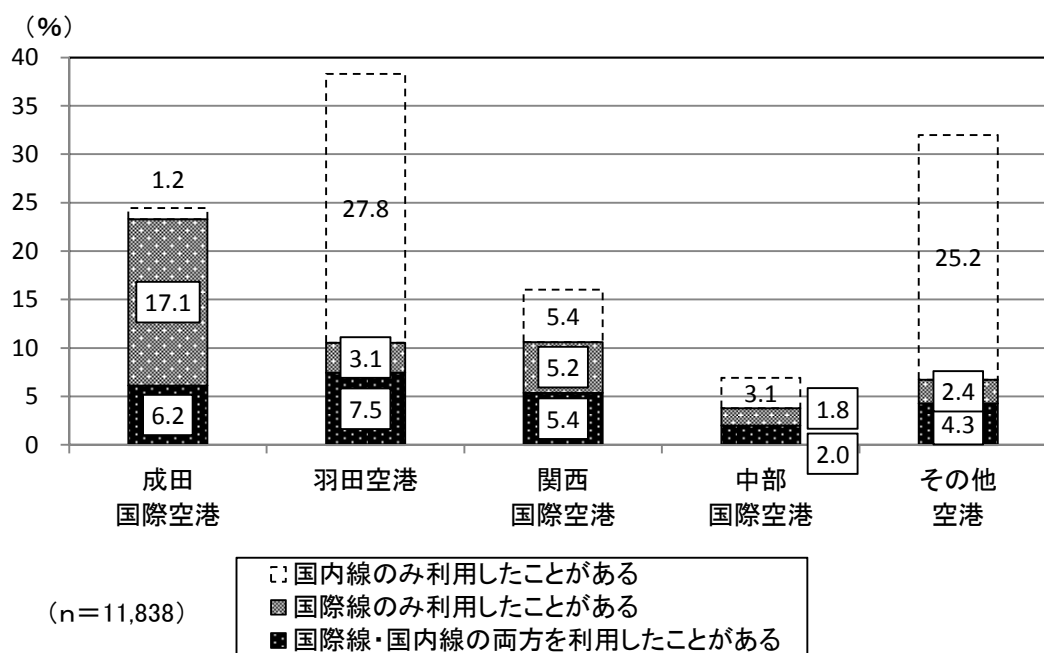
成田国際空港の国際線利用者の内訳をみると、「国際線のみ利用したことがある」と回答した人の割合は、17.1%と他空港と比べて圧倒的に高いが、「国際線・国内線の両方を利用したことがある」と回答した人の割合は6.2%と「羽田空港(7.5%)」より低水準となっている。

成田国際空港の「国内線のみ利用したことがある」と回答した人の割合は1.2%と「羽田空港(27.8%)」や「関西国際空港(5.4%)」、「中部国際空港(3.1%)」よりも低くなっている。

図表 9 国際線の利用の有無(SA)



図表 10 国際線の利用状況(MA)

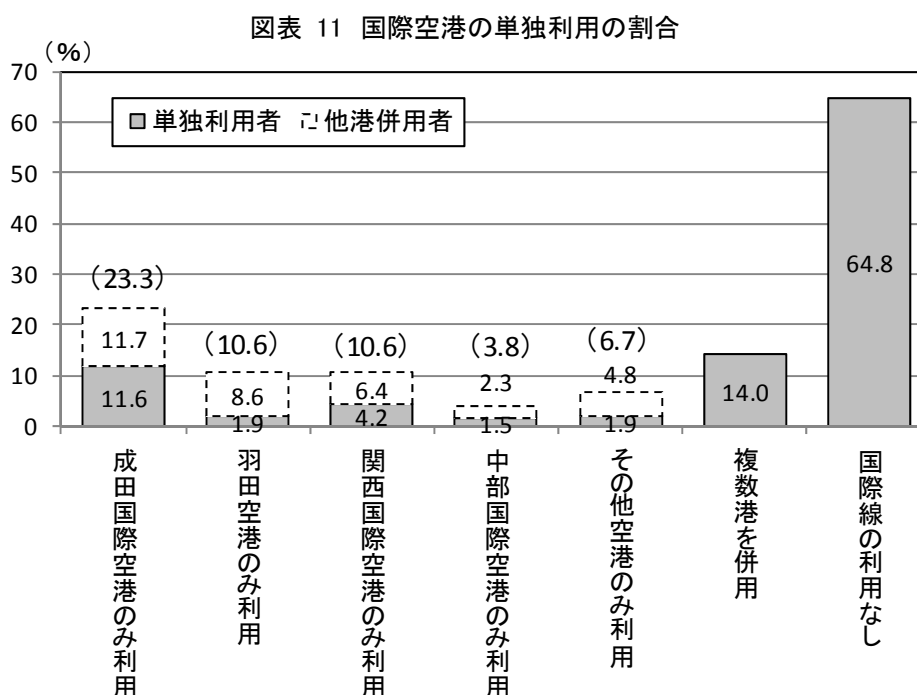


## b. 単独利用者・他港併用者別

国際空港の単独利用者の割合をみると、「成田国際空港」が11.6%と最も高く、次いで「関西国際空港(4.2%)」、「羽田空港(1.9%)」、「その他空港(1.9%)」、「中部国際空港(1.5%)」となっている(図表11)。

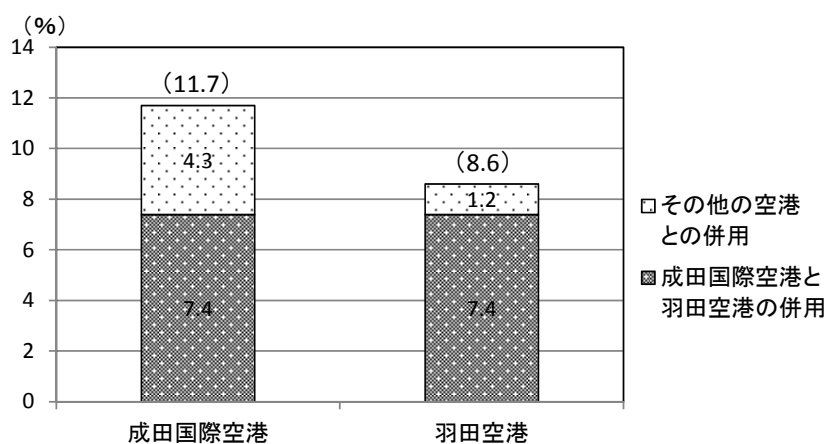
複数港を併用して海外渡航している回答者の割合は14.0%であった。

成田国際空港の他港併用者(11.7%)のうち、羽田空港の併用者は7.4%と約6割を占めている(図表12)。一方、羽田空港の他港併用者(8.6%)の約9割(7.4%)は成田国際空港を併用している。



※カッコ内の数値は利用者合計の割合。

図表 12 成田国際空港と羽田空港の他港併用者の内訳



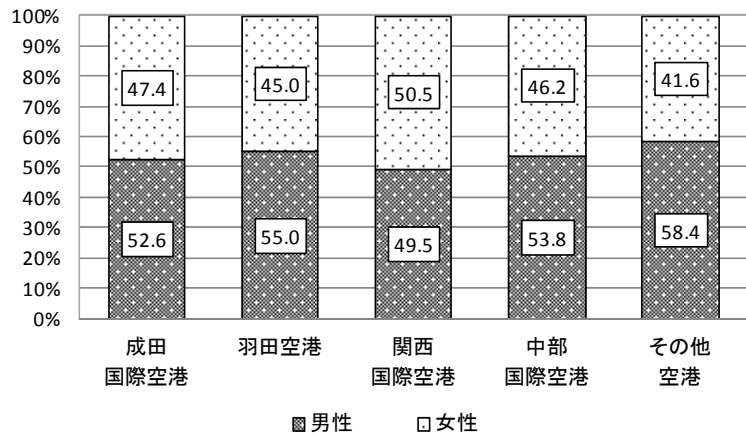
※カッコ内の数値は併用利用者の合計。

### c. 性別

成田国際空港の国際線利用者を性別にみると、「男性」が52.6%と「女性(47.4%)」を上回っている(図表13)。

羽田空港の「男性」の割合は55.0%と成田国際空港(52.6%)よりやや高い。

図表 13 国際線の利用状況(性別)



【数表】

(単位:%)

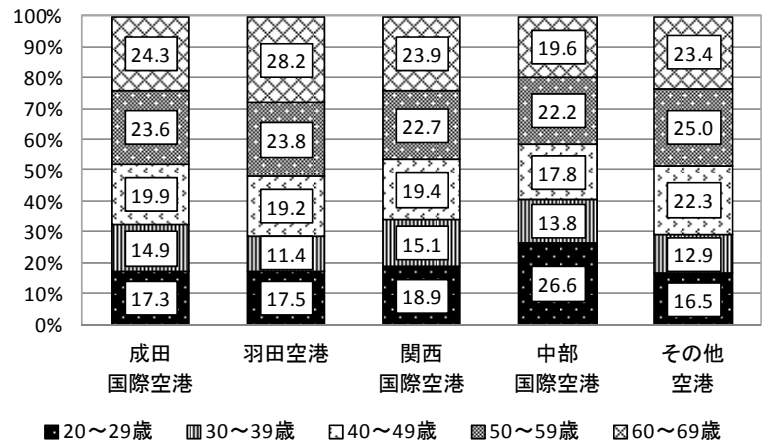
	成田国際空港	羽田空港	関西国際空港	中部国際空港	その他空港
回答件数	2,759	1,250	1,258	455	800
男性	52.6	55.0	49.5	53.8	58.4
女性	47.4	45.0	50.5	46.2	41.6

### d. 年齢層別

成田国際空港の国際線利用者を年齢層別にみると、「60～69歳」が24.3%と最も高く、次いで「50～59歳(23.6%)」、「30～39歳(19.9%)」などとなっている(図表14)。

羽田空港の「60～69歳(28.2%)」と中部国際空港の「20～29歳(26.6%)」の割合が他空港と比べて高いことが目立つ。

図表 14 国際線の利用状況(年齢層別)



【数表】

(単位:%)

	成田国際空港	羽田空港	関西国際空港	中部国際空港	その他空港
回答件数	2,759	1,250	1,258	455	800
20～29歳	17.3	17.5	18.9	26.6	16.5
30～39歳	14.9	11.4	15.1	13.8	12.9
40～49歳	19.9	19.2	19.4	17.8	22.3
50～59歳	23.6	23.8	22.7	22.2	25.0
60～69歳	24.3	28.2	23.9	19.6	23.4

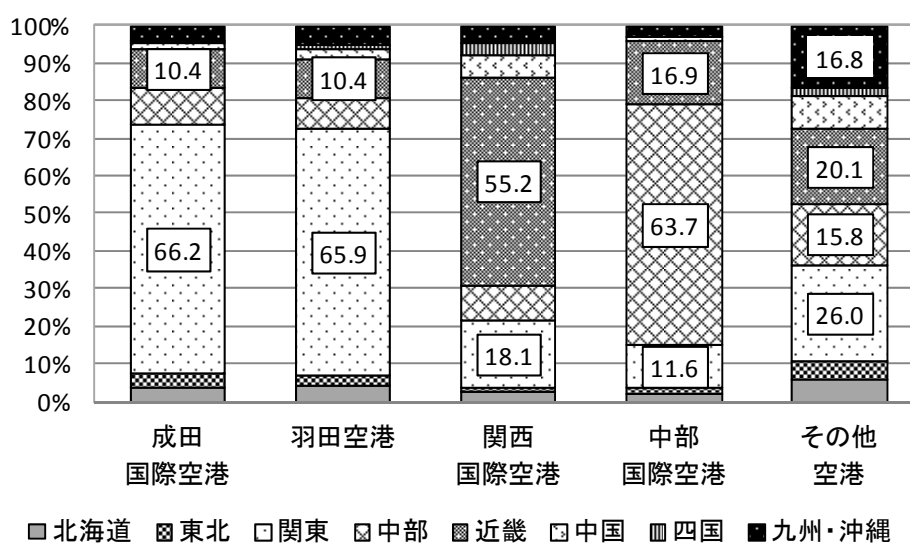
### e. 居住地別

成田国際空港の国際線利用者を居住地別にみると、「関東」が 66.2%と最も高く、次いで「近畿(10.4%)」、「中部(9.8%)」などとなっている(図表 15)。

成田国際空港以外の空港別に最も多い居住地の割合をみると、羽田空港は「関東(65.9%)」、関西国際空港は「近畿(55.2%)」、中部国際空港は「中部(63.7%)」と各空港の周辺地域の居住者がそれぞれ2/3程度を占めている。

その他空港の国際線を利用している居住地別の割合は、「関東」が 26.0%と最も高く、次いで「近畿(20.1%)」、「九州・沖縄(16.8%)」、「中部(15.8%)」などとなっている。

図表 15 国際線の利用状況(居住地別)



【数表】

(単位:%)

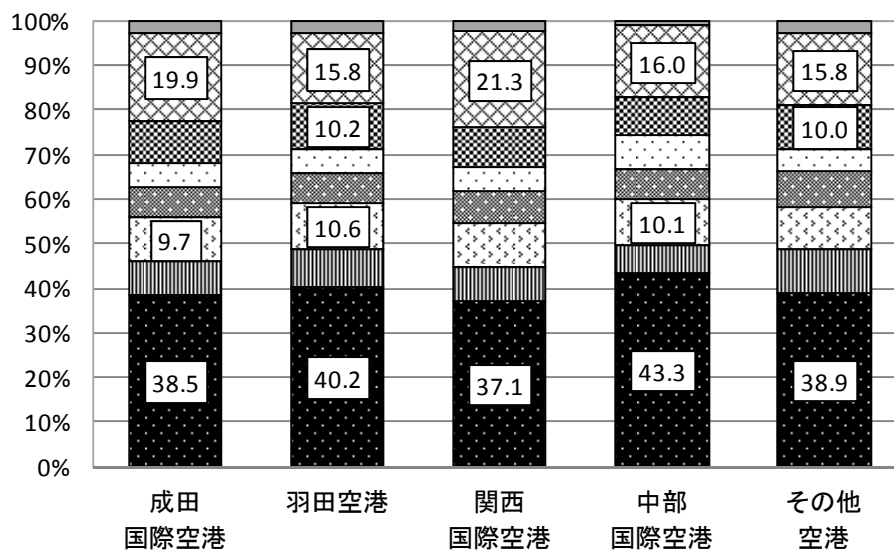
	成田国際空港	羽田空港	関西国際空港	中部国際空港	その他空港
回答件数	2,759	1,250	1,258	455	800
北海道	3.6	4.3	2.5	2.2	5.8
東北	3.8	2.4	1.1	1.3	4.8
関東	66.2	65.9	18.1	11.6	26.0
東京都	27.9	30.2	7.6	5.1	11.9
神奈川県	15.0	17.5	5.0	2.4	6.5
千葉県	9.6	7.0	2.2	1.5	3.1
埼玉県	8.4	7.8	2.1	2.0	2.6
茨城県	2.4	1.4	0.4	0.2	1.3
栃木県	1.5	1.1	0.7	0.2	0.5
群馬県	1.3	0.7	0.1	0.2	0.1
中部	9.8	8.2	9.2	63.7	15.8
近畿	10.4	10.4	55.2	16.9	20.1
中国	1.5	2.6	6.1	1.1	9.1
四国	0.8	0.8	3.1	0.0	1.8
九州・沖縄	4.0	5.4	4.7	3.1	16.8

## f. 職業別

成田国際空港の国際線利用者を職業別にみると、「会社員」が38.5%と最も高く、次いで「専業主婦(19.9%)」、「パート・アルバイト(9.7%)」などとなっている(図表16)。

羽田空港との比較では、羽田空港の「会社勤務」の割合は40.2%と成田国際空港(38.5%)よりやや高くなっている。

図表 16 国際線の利用状況(職業別)



■会社員 ■自営業 □パート・アルバイト ■公務員等 □学生 ■無職 ■専業主婦 ■その他

【数表】

(単位:%)

	成田国際空港	羽田空港	関西国際空港	中部国際空港	その他空港
回答件数	2,759	1,250	1,258	455	800
会社員	38.5	40.2	37.1	43.3	38.9
自営業	7.5	8.2	7.5	6.4	9.6
パート・アルバイト	9.7	10.6	9.9	10.1	9.6
公務員等	6.8	6.6	6.9	7.0	8.1
専業主婦	19.9	15.8	21.3	16.0	15.8
学生	5.3	5.4	5.4	7.5	4.9
無職	9.6	10.2	9.3	8.4	10.0
その他	2.7	3.0	2.5	1.3	3.1



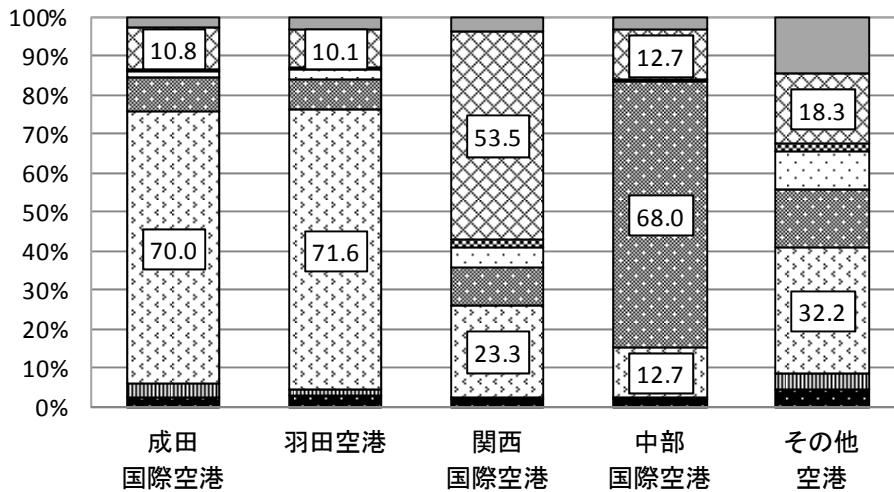
g. 会社所在地別

(7) 会社所在地（地域別）

成田国際空港の国際線利用者を会社所在地域別にみると、「関東」が70.0%と最も高く、次いで「近畿（10.8%）」、「中部（8.8%）」などとなっている（図表17）。

成田国際空港と羽田空港の国際線利用者の居住地と会社所在地の割合の差異（会社所在地－居住地）をみると、いずれも「関東」では会社所在地が居住地より高くなっているが、その差異は羽田空港（+5.7ポイント）が成田国際空港（+3.8ポイント）を上回っている（図表18）。

図表 17 国際線の利用状況（会社所在地域別）



■北海道 ■東北 □関東 ■中部 □中国 ▨四国 ▩近畿 ■九州・沖縄

【数表】

(単位: %)

	成田国際空港	羽田空港	関西国際空港	中部国際空港	その他空港
回答件数	1,061	503	467	197	311
北海道	2.4	3.0	1.7	2.0	4.2
東北	3.3	1.4	0.9	0.5	4.5
関東	70.0	71.6	23.3	12.7	32.2
東京都	45.3	48.1	16.5	10.2	21.9
神奈川県	11.3	13.5	4.7	1.0	5.8
千葉県	4.7	3.8	0.6	0.0	2.3
埼玉県	4.0	3.4	0.6	0.0	1.3
茨城県	2.0	1.4	0.2	0.5	0.6
栃木県	1.4	1.0	0.6	0.5	0.3
群馬県	1.3	0.4	0.0	0.5	0.0
中部	8.8	7.8	9.6	68.0	14.8
近畿	10.8	10.1	53.5	12.7	18.3
中国	1.3	2.6	5.1	0.5	10.0
四国	0.8	0.4	2.1	0.0	1.6
九州・沖縄	2.6	3.2	3.6	3.6	14.5

図表 18 成田国際空港と羽田空港の居住地と会社所在地との割合の差異

(単位: %、ポイント)

	成田国際空港			羽田空港		
	居住地 (A)	会社所在地 (B)	差異 (B-A)	居住地 (A)	会社所在地 (B)	差異 (B-A)
回答件数	2,759	1,061	-	1,250	503	-
北海道	3.6	2.4	▲ 1.2	4.3	3.0	▲ 1.3
東北	3.8	3.3	▲ 0.5	2.4	1.4	▲ 1.0
関東	66.2	70.0	3.8	65.9	71.6	5.7
東京都	27.9	45.3	17.4	30.2	48.1	17.9
神奈川県	15.0	11.3	▲ 3.7	17.5	13.5	▲ 4.0
千葉県	9.6	4.7	▲ 4.9	7.0	3.8	▲ 3.3
埼玉県	8.4	4.0	▲ 4.5	7.8	3.4	▲ 4.5
茨城県	2.4	2.0	▲ 0.4	1.4	1.4	▲ 0.0
栃木県	1.5	1.4	▲ 0.1	1.1	1.0	▲ 0.1
群馬県	1.3	1.3	0.1	0.7	0.4	▲ 0.3
中部	9.8	8.8	▲ 1.1	8.2	7.8	▲ 0.4
近畿	10.4	10.8	0.5	10.4	10.1	▲ 0.3
中国	1.5	1.3	▲ 0.2	2.6	2.6	▲ 0.1
四国	0.8	0.8	▲ 0.1	0.8	0.4	▲ 0.4
九州・沖縄	4.0	2.6	▲ 1.3	5.4	3.2	▲ 2.2

## (イ) 会社所在都道府県別

会社所在地を都道府県別にみると、成田国際空港では、「東京都」が 45.3%と最も高く、次いで「神奈川県(11.3%)」、「大阪府(6.3%)」などとなっている(図表 19)。東京都の 23 区内は、成田国際空港の国際線利用者の 41.5%、羽田空港の同 33.0%を占めている。

会社所在地(都道府県別)の上位5位計の割合は、成田国際空港が 72.0%、羽田空港は 75.0%を占めている。また、東京圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)の割合は、成田国際空港が 65.3%、羽田空港が 68.8%となっている。

図表 19 成田国際空港と羽田空港の利用状況(会社所在都道府県別)

(単位:%)

		成田国際空港				羽田空港		
		国際線を利用したことがある				国際線を利用したことがある		
		国際線・国内線を利用	国際線のみ利用			国際線・国内線を利用	国際線のみ利用	
	回答件数	1,061	295	766	回答件数	503	353	150
1位	東京都	45.3	36.6	48.7	東京都	48.1	52.1	38.7
	うち23区内	41.5	32.9	44.8	うち23区内	33.0	40.5	15.3
2位	神奈川県	11.3	5.4	13.6	神奈川県	13.5	13.9	12.7
3位	大阪府	6.3	13.6	3.5	大阪府	6.2	7.1	4.0
4位	千葉県	4.7	4.1	5.0	千葉県	3.8	2.8	6.0
5位	愛知県	4.3	8.5	2.7	埼玉県	3.4	3.4	3.3
-	上位5位計	72.0	68.2	73.5	上位5位計	75.0	79.3	64.7
-	東京圏 <sup>注</sup>	65.3	48.5	71.9	東京圏 <sup>注</sup>	68.8	72.2	60.7

(注)東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の合計。

## h. 国際線利用者の国内線併用状況

成田国際空港の国際線利用者(2,759人)のうち国内線を併用している割合は26.5%と、国際線のみ利用者(73.5%)より圧倒的に低くなっている(図表20)。

他空港で国内線を併用している割合をみると、「羽田空港」が70.9%と最も高く、次いで「その他空港(63.9%)」、「中部国際空港(53.0%)」、「関西国際空港(51.0%)」となっており、成田国際空港以外はいずれも5割を上回る水準となっている。

成田国際空港の国際線利用者のうち国内線を併用している回答者の割合を地域別にみると、「九州・沖縄(54.5%)」と「近畿(54.2%)」、「北海道(52.0%)」が5割を超えているが、これらの地域に共通しているのは、①成田国際空港と1日5便以上の国内線で結ばれていること(図表21)、②北海道や九州・沖縄など成田国際空港から遠隔地であることがあげられる。

図表 20 国際線利用者の国内線併用状況

(単位:%)

	成田国際空港		羽田空港		関西国際空港		中部国際空港		その他空港	
	国内・国際 両方利用	国際 のみ利用	国内・国際 両方利用	国際 のみ利用	国内・国際 両方利用	国際 のみ利用	国内・国際 両方利用	国際 のみ利用	国内・国際 両方利用	国際 のみ利用
回 答 件 数	2,759		1,250		1,258		455		800	
合 計	26.5	73.5	70.9	29.1	51.0	49.0	53.0	47.0	63.9	36.1
北 海 道	52.0	48.0	79.6	20.4	80.6	19.4	60.0	40.0	76.1	23.9
東 北	19.2	80.8	63.3	36.7	64.3	35.7	83.3	16.7	68.4	31.6
関 東	18.5	81.5	73.2	26.8	53.9	46.1	45.3	54.7	52.9	47.1
茨 城 県	22.4	77.6	50.0	50.0	40.0	60.0	0.0	100.0	30.0	70.0
栃 木 県	19.0	81.0	50.0	50.0	44.4	55.6	0.0	100.0	75.0	25.0
群 馬 県	11.4	88.6	66.7	33.3	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
埼 玉 県	16.4	83.6	78.6	21.4	69.2	30.8	55.6	44.4	61.9	38.1
千 葉 県	22.2	77.8	70.5	29.5	42.9	57.1	85.7	14.3	44.0	56.0
東 京 都	17.9	82.1	75.7	24.3	57.3	42.7	47.8	52.2	60.0	40.0
神 奈 川 県	18.1	81.9	71.2	28.8	49.2	50.8	18.2	81.8	44.2	55.8
中 部	33.2	66.8	54.9	45.1	26.7	73.3	53.1	46.9	61.9	38.1
近 畿	54.2	45.8	69.2	30.8	53.3	46.7	54.5	45.5	64.0	36.0
中 国	36.6	63.4	72.7	27.3	19.5	80.5	20.0	80.0	65.8	34.2
四 国	17.4	82.6	70.0	30.0	48.7	51.3	-	-	50.0	50.0
九 州 ・ 沖 縄	54.5	45.5	65.7	34.3	83.1	16.9	64.3	35.7	77.6	22.4

(注)網掛けは割合が5割以上のカテゴリー。

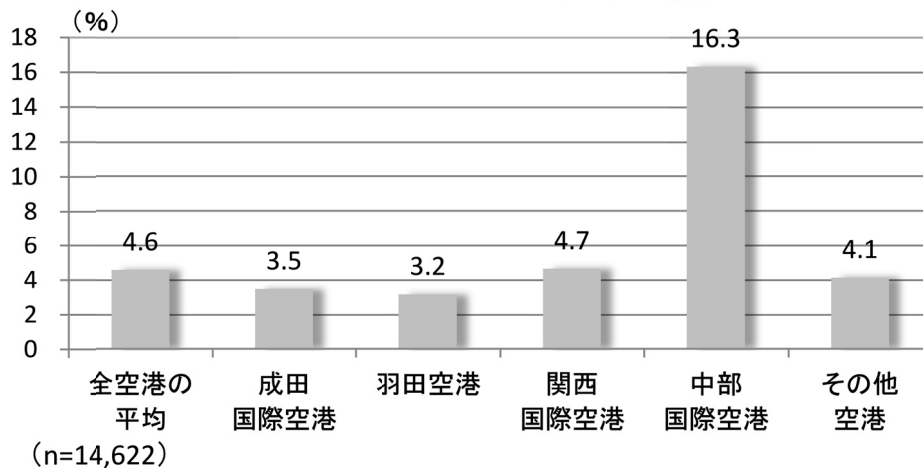
きの国内線		
札幌	5便/日	
仙台	2便/日	
小松	2便/日	
中部	6便/日	
大阪	伊丹	4便/日
	関空	1便/日
広島	2便/日	
福岡	5便/日	
那覇	2便/日	
計	29便/日	

(出所)成田空港ホームページ(2011年9月ダイヤ)

## ② 空港利用者に占める観光客の割合

空港利用者(航空旅客数+観光客<sup>注</sup>)に占める観光客の割合をみると、中部国際空港が16.3%と圧倒的に高く、次いで「関西国際空港(4.7%)」、「その他空港(4.1%)」が続いている。「成田国際空港」の観光客の割合は、3.5%と「羽田空港(3.2%)」をわずかながら上回っているものの全空港の平均(4.6%)以下となっている(図表22)。

図表 22 空港利用者に占める観光客の割合



【数表】

(単位: 件)

	合計	成田国際空港	羽田空港	関西国際空港	中部国際空港	その他空港
空港利用者	14,622	3,004	4,686	1,994	986	3,952
航空旅客数	13,950	2,899	4,537	1,901	825	3,788
観光客	672	105	149	93	161	164
空港利用者に占める割合	4.6	3.5	3.2	4.7	16.3	4.1

(注)「国際線も国内線も利用したことがないが、観光目的で利用したことがある」と回答した者を指す。

### ③ 成田国際空港の利用状況

#### a. 都道府県別

成田国際空港の国際線の利用状況を都道府県別(都道府県合計=100%)にみると、「東京都」が27.9%と最も高く、次いで「神奈川県(15.0%)」、「千葉県(9.6%)」、「埼玉県(8.4%)」などとなっている(図表23)。

羽田空港との距離が近く、成田国際空港が国際線需要を取り込むうえで競合する可能性が高い「東京都」と「神奈川県」、「埼玉県」の合計は51.3%となっている。

一方、成田国際空港との距離が比較的近い「北関東地域(茨城県・栃木県・群馬県)」の合計は5.2%と、「関西地域(大阪府・兵庫県・京都府)」の合計(8.1%)よりやや低い水準となっている。

図表 23 成田国際空港の利用状況(都道府県合計=100%)

(単位:%)

	合 計	国際線を利用したことがある		国内線のみ利用したことがある	観光目的で利用したことがある	利用したことがない	
		国際線・国内線を利用	国際線のみ利用				
回 答 件 数	11,838	2,759	732	2,027	140	8,834	
北 海 道	4.2	3.6	7.0	2.3	5.0	1.9	4.5
東 北	4.9	3.8	2.7	4.1	2.9	1.9	5.4
青 森 県	0.6	0.4	0.3	0.4	0.0	0.0	0.7
岩 手 県	0.6	0.3	0.1	0.3	0.7	0.0	0.7
宮 城 県	1.7	1.3	1.0	1.4	0.7	0.0	1.9
秋 田 県	0.5	0.4	0.1	0.5	0.7	1.0	0.5
山 形 県	0.6	0.6	0.8	0.5	0.7	0.0	0.6
福 島 県	0.9	0.8	0.4	1.0	0.0	1.0	0.9
関 東	44.3	66.2	46.0	73.5	42.1	71.4	37.2
茨 城 県	1.9	2.4	2.0	2.6	1.4	6.7	1.6
栃 木 県	1.2	1.5	1.1	1.7	1.4	1.9	1.1
群 馬 県	0.9	1.3	0.5	1.5	0.7	1.0	0.8
埼 玉 県	6.6	8.4	5.2	9.6	3.6	9.5	6.0
千 葉 県	6.7	9.6	8.1	10.2	15.0	10.5	5.6
東 京 都	16.5	27.9	18.9	31.2	15.0	29.5	12.8
神 奈 川 県	10.5	15.0	10.2	16.7	5.0	12.4	9.2
中 部	13.7	9.8	12.3	8.9	11.4	6.7	14.9
新 潟 県	1.1	1.2	0.5	1.4	2.9	0.0	1.0
富 山 県	0.6	0.1	0.1	0.1	1.4	0.0	0.7
石 川 県	0.8	0.4	1.0	0.2	2.1	0.0	0.9
福 井 県	0.4	0.2	0.4	0.1	0.0	0.0	0.4
山 梨 県	0.4	0.7	1.0	0.5	0.0	0.0	0.3
長 野 県	1.2	1.7	1.1	1.9	0.0	0.0	1.1
岐 阜 県	1.2	0.4	0.8	0.2	0.7	1.0	1.5
静 岡 県	2.1	1.6	1.4	1.6	1.4	2.9	2.3
愛 知 県	5.9	3.6	6.0	2.7	2.9	2.9	6.8
近 畿	19.3	10.4	21.2	6.5	25.0	14.3	22.1
三 重 県	1.2	0.8	1.4	0.5	0.7	1.0	1.3
滋 賀 県	1	0.5	1.1	0.3	0.7	0.0	1.2
京 都 府	2.3	1.4	3.0	0.8	2.9	2.9	2.6
大 阪 府	7.9	4.3	8.9	2.6	12.1	7.6	8.9
兵 庫 県	5	2.4	4.6	1.6	5.0	1.9	5.9
奈 良 県	1.4	0.7	1.5	0.4	2.1	1.0	1.7
和 歌 山 県	0.5	0.3	0.7	0.1	1.4	0.0	0.6
中 国	4.8	1.5	2.0	1.3	2.1	1.9	5.9
鳥 取 県	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3
島 根 県	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
岡 山 県	1.3	0.4	1.0	0.2	0.7	0.0	1.5
広 島 県	2.2	0.6	0.7	0.6	1.4	1.0	2.8
山 口 県	0.8	0.3	0.4	0.3	0.0	1.0	1.0
四 国	2.1	0.8	0.5	0.9	2.9	0.0	2.4
徳 島 県	0.4	0.1	0.1	0.1	1.4	0.0	0.5
香 川 県	0.6	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0	0.7
愛 媛 県	0.7	0.4	0.1	0.4	0.7	0.0	0.8
高 知 県	0.4	0.1	0.1	0.1	0.7	0.0	0.4
九 州・沖 縄	6.6	4.0	8.2	2.5	8.6	1.9	7.6
福 岡 県	3.2	2.0	4.8	0.9	2.9	1.0	3.6
佐 賀 県	0.4	0.2	0.3	0.1	0.7	0.0	0.5
長 崎 県	0.5	0.3	0.4	0.2	0.0	0.0	0.6
熊 本 県	0.7	0.3	0.7	0.1	1.4	0.0	0.8
大 分 県	0.5	0.3	0.7	0.1	0.7	0.0	0.6
宮 崎 県	0.4	0.4	0.3	0.4	1.4	0.0	0.4
鹿 児 島 県	0.5	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.7
沖 縄 県	0.4	0.4	1.0	0.2	1.4	1.0	0.4

(参考) 人口 10 万人あたりの国際線利用者数

本アンケートにおける国際線利用者(20～60 歳代の人口 10 万人あたり)を関東の都県別で見ると、成田空港は、東京都が 8.5 人と最も多く、次いで「神奈川県(6.7 人)」、「千葉県(6.4 人)」、「埼玉県(4.7 人)」となっている(図表 24)。

羽田空港でも、東京都が 4.2 人と最も多く、次いで「神奈川県(3.6 人)」、「千葉県(2.1 人)」、「埼玉県(2.0 人)」の順となっている(図表 25)。

図表 24 成田空港の国際線利用者(人口 10 万人あたり)

(単位:人)

	全国	東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県
合計	3.3	8.5	6.7	6.4	4.7	3.5	3.2	2.7
20～29歳	3.5	8.2	5.1	7.1	5.3	4.8	2.4	2.6
30～39歳	2.3	5.5	4.3	5.0	2.4	3.2	2.5	1.8
40～49歳	3.3	7.8	6.3	4.0	4.4	3.7	5.1	2.3
50～59歳	4.0	12.1	9.4	7.0	6.4	2.0	3.6	3.8
60～69歳	3.7	10.3	9.1	9.0	5.7	3.9	2.5	3.1

(算式)本アンケートにおける成田空港の国際線利用者数/平成22年国勢調査(総務省)人口×100,000

図表 25 羽田空港の国際線利用者(人口 10 万人あたり)

(単位:人)

	全国	東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県	栃木県	茨城県	群馬県
合計	1.5	4.2	3.6	2.1	2.0	1.1	0.9	0.7
20～29歳	1.6	4.1	2.8	2.1	2.1	0.5	0.6	1.0
30～39歳	0.8	2.3	2.2	1.2	1.0	1.1	1.0	0.0
40～49歳	1.4	3.8	2.5	1.4	2.2	1.2	1.6	0.8
50～59歳	1.8	5.5	5.5	2.7	2.8	0.7	0.5	1.1
60～69歳	1.9	5.9	5.2	3.2	2.1	1.8	0.9	0.7

(算式)本アンケートにおける羽田空港の国際線利用者数/平成22年国勢調査(総務省)人口×100,000

## b. 国際線の利用状況（羽田空港との比較）

成田国際空港の国際線の利用状況を都道府県別に羽田空港と比較してみると、成田国際空港は、「山梨県」が 40.0%と最も高く、次いで「東京都(39.4%)」、「千葉県(33.5%)」、「神奈川県(33.3%)」などとなっている(図表 26)。

一方、羽田空港は、「山梨県」が 22.2%と最も高く、次いで「東京都(19.3%)」、「神奈川県(17.6%)」などとなっている。

図表 26 成田国際空港と羽田空港の利用状況(各都道府県=100%)  
(単位: %、ポイント)

	回答件数	国際線を利用したことがある			国際線・国内線を利用したことがある			国際線のみ利用したことがある		
		成田空港(A)	羽田空港(B)	差異(A-B)	成田空港(A)	羽田空港(B)	差異(A-B)	成田空港(A)	羽田空港(B)	差異(A-B)
全 体	11,838	23.3	10.6	12.7	6.2	7.5	▲ 1.3	17.1	3.1	14.0
北海道	502	19.6	10.8	8.8	10.2	8.6	1.6	9.4	2.2	7.2
青森県	76	14.4	2.6	11.8	2.6	1.3	1.3	11.8	1.3	10.5
岩手県	73	11.0	0.0	11.0	1.4	0.0	1.4	9.6	0.0	9.6
宮城県	200	17.5	6.5	11.0	3.5	4.5	▲ 1.0	14.0	2.0	12.0
秋田県	61	18.0	9.9	8.1	1.6	6.6	▲ 5.0	16.4	3.3	13.1
山形県	72	22.2	9.8	12.4	8.3	5.6	2.7	13.9	4.2	9.7
福島県	104	22.1	2.0	20.1	2.9	1.0	1.9	19.2	1.0	18.2
茨城県	221	30.3	8.2	22.1	6.8	4.1	2.7	23.5	4.1	19.4
栃木県	140	30.0	10.0	20.0	5.7	5.0	0.7	24.3	5.0	19.3
群馬県	112	31.3	8.1	23.2	3.6	5.4	▲ 1.8	27.7	2.7	25.0
埼玉県	780	29.8	12.6	17.2	4.9	9.9	▲ 5.0	24.9	2.7	22.2
千葉県	793	33.5	11.1	22.4	7.4	7.8	▲ 0.4	26.1	3.3	22.8
東京都	1,957	39.4	19.3	20.1	7.1	14.6	▲ 7.5	32.3	4.7	27.6
神奈川県	1,244	33.3	17.6	15.7	6.0	12.5	▲ 6.5	27.3	5.1	22.2
新潟県	125	25.6	9.6	16.0	3.2	6.4	▲ 3.2	22.4	3.2	19.2
富山県	69	5.7	5.8	▲ 0.1	1.4	2.9	▲ 1.5	4.3	2.9	1.4
石川県	92	13.0	6.5	6.5	7.6	5.4	2.2	5.4	1.1	4.3
福井県	42	14.2	0.0	14.2	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1
山梨県	45	40.0	22.2	17.8	15.6	11.1	4.5	24.4	11.1	13.3
長野県	142	33.1	11.9	21.2	5.6	7.7	▲ 2.1	27.5	4.2	23.3
岐阜県	146	7.5	5.4	2.1	4.1	2.7	1.4	3.4	2.7	0.7
静岡県	249	17.3	7.6	9.7	4.0	4.0	0.0	13.3	3.6	9.7
愛知県	703	14.0	3.7	10.3	6.3	1.6	4.7	7.7	2.1	5.6
三重県	137	15.3	1.5	13.8	7.3	1.5	5.8	8.0	0.0	8.0
滋賀県	118	11.9	5.0	6.9	6.8	4.2	2.6	5.1	0.8	4.3
京都府	275	14.2	5.5	8.7	8.0	4.0	4.0	6.2	1.5	4.7
大阪府	932	12.7	6.4	6.3	7.0	4.5	2.5	5.7	1.9	3.8
兵庫県	594	11.3	5.3	6.0	5.7	3.4	2.3	5.6	1.9	3.7
奈良県	170	11.2	5.3	5.9	6.5	2.4	4.1	4.7	2.9	1.8
和歌山県	63	12.7	11.1	1.6	7.9	9.5	▲ 1.6	4.8	1.6	3.2
鳥取県	28	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1
島根県	36	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8
岡山県	148	8.1	6.1	2.0	4.7	4.7	0.0	3.4	1.4	2.0
広島県	263	6.5	7.6	▲ 1.1	1.9	5.3	▲ 3.4	4.6	2.3	2.3
山口県	94	9.6	4.3	5.3	3.2	3.2	0.0	6.4	1.1	5.3
徳島県	49	6.1	4.0	2.1	2.0	2.0	0.0	4.1	2.0	2.1
香川県	68	8.9	5.9	3.0	1.5	5.9	▲ 4.4	7.4	0.0	7.4
愛媛県	79	12.7	1.3	11.4	1.3	1.3	0.0	11.4	0.0	11.4
高知県	42	9.5	7.2	2.3	2.4	2.4	0.0	7.1	4.8	2.3
福岡県	379	14.2	10.3	3.9	9.2	7.4	1.8	5.0	2.9	2.1
佐賀県	48	10.5	6.3	4.2	4.2	2.1	2.1	6.3	4.2	2.1
長崎県	61	13.1	4.9	8.2	4.9	4.9	0.0	8.2	0.0	8.2
熊本県	81	9.9	7.4	2.5	6.2	2.5	3.7	3.7	4.9	▲ 1.2
大分県	58	13.8	8.6	5.2	8.6	6.9	1.7	5.2	1.7	3.5
宮崎県	51	21.5	5.9	15.6	3.9	3.9	0.0	17.6	2.0	15.6
鹿児島県	63	6.4	4.8	1.6	1.6	1.6	0.0	4.8	3.2	1.6
沖縄県	53	22.6	9.5	13.1	13.2	5.7	7.5	9.4	3.8	5.6

(注) 網掛けは成田空港と国内線で結ばれた県。



羽田空港の「国際線・国内線を利用したことがある」という回答割合は、成田国際空港の6.2%に対し、羽田空港は7.5%と成田空港より高い水準となっている。

羽田空港の同割合で成田国際空港との差異(成田国際空港－羽田空港)が大きかった項目をみると、性別では「男性(▲1.4ポイント)」、年齢層別には「60～69歳(▲3.2ポイント)」、居住地別には「四国(▲5.0ポイント)」、職業別には「パート・アルバイト(▲6.7ポイント)」、会社所在地別には「関東(▲5.2ポイント)」となっている(図表27)。

図表 27 成田国際空港と羽田空港の国際線の利用状況(回答件数=100%)

(単位: %、ポイント)

	回答件数	国際線を利用したことがある			国際線・国内線を利用したことがある			国際線のみ利用したことがある			
		成田空港(A)	羽田空港(B)	差異(A-B)	成田空港(A)	羽田空港(B)	差異(A-B)	成田空港(A)	羽田空港(B)	差異(A-B)	
全体	11,838	23.3	10.6	12.7	6.2	7.5	▲ 1.3	17.1	3.1	14.0	
性別	男性	6,595	22.0	10.4	11.6	6.1	7.5	▲ 1.4	15.9	2.9	13.0
	女性	5,243	24.9	10.7	14.2	6.3	7.5	▲ 1.2	18.6	3.2	15.4
年齢層別	20～29歳	2,057	23.3	10.7	12.6	6.9	6.8	0.1	16.4	3.9	12.5
	30～39歳	1,731	23.8	8.2	15.6	6.2	5.5	0.7	17.6	2.7	14.9
	40～49歳	2,258	24.3	10.7	13.6	6.1	7.6	▲ 1.5	18.2	3.1	15.1
	50～59歳	2,754	23.6	10.8	12.8	6.3	7.6	▲ 1.3	17.3	3.2	14.1
	60～69歳	3,038	22.1	11.6	10.5	5.7	8.9	▲ 3.2	16.4	2.7	13.7
居住地別	北海道	502	19.6	12.3	7.3	10.2	8.6	1.6	9.4	3.7	5.7
	東北	586	17.7	10.4	7.3	3.4	8.2	▲ 4.8	14.3	2.2	12.1
	関東	5,247	34.8	9.3	25.5	6.4	5.9	0.5	28.4	3.4	25.0
	中部	1,613	16.8	11.3	5.5	5.6	8.3	▲ 2.7	11.2	3.0	8.2
	近畿	2,289	12.5	9.1	3.4	6.8	6.7	0.1	5.7	2.4	3.3
	中国	569	7.2	11.1	▲ 3.9	2.6	6.7	▲ 4.1	4.6	4.4	0.2
	四国	238	9.7	8.6	1.1	1.7	6.7	▲ 5.0	8.0	1.9	6.1
	九州・沖縄	794	13.9	11.1	2.8	7.6	6.9	0.7	6.3	4.2	2.1
職業別	会社勤務	4,109	25.8	10.8	15.0	7.2	8.6	▲ 1.4	18.6	2.2	16.4
	自営業	985	21.1	5.1	16.0	5.9	3.2	2.7	15.2	1.9	13.3
	パート・アルバイト	1,428	18.7	15.7	3.0	4.8	11.5	▲ 6.7	13.9	4.2	9.7
	公務員等	726	25.9	6.4	19.5	6.5	3.5	3.0	19.4	2.9	16.5
	専業主婦	2,165	25.4	5.6	19.8	6.0	3.9	2.1	19.4	1.7	17.7
	学生	614	23.8	5.8	18.0	7.7	4.2	3.5	16.1	1.6	14.5
	無職	1,477	17.9	4.2	13.7	4.5	2.9	1.6	13.4	1.3	12.1
	その他	334	22.5	8.4	14.1	6.0	5.5	0.5	16.5	2.9	13.6
会社所在地別	北海道	144	17.3	10.4	6.9	9.7	9.7	0.0	7.6	0.7	6.9
	東北	186	18.9	3.8	15.1	2.2	1.6	0.6	16.7	2.2	14.5
	関東	1,981	37.5	18.1	19.4	7.9	13.1	▲ 5.2	29.6	5	24.6
	中部	578	16.1	6.8	9.3	5.7	3.5	2.2	10.4	3.3	7.1
	近畿	743	15.5	6.8	8.7	9.0	5.1	3.9	6.5	1.7	4.8
	中国	176	7.9	7.4	0.5	3.4	5.1	▲ 1.7	4.5	2.3	2.2
	四国	72	11.1	2.8	8.3	1.4	1.4	0.0	9.7	1.4	8.3
	九州・沖縄	229	12.2	7.0	5.2	6.1	3.5	2.6	6.1	3.5	2.6

### c. 羽田空港との併用状況

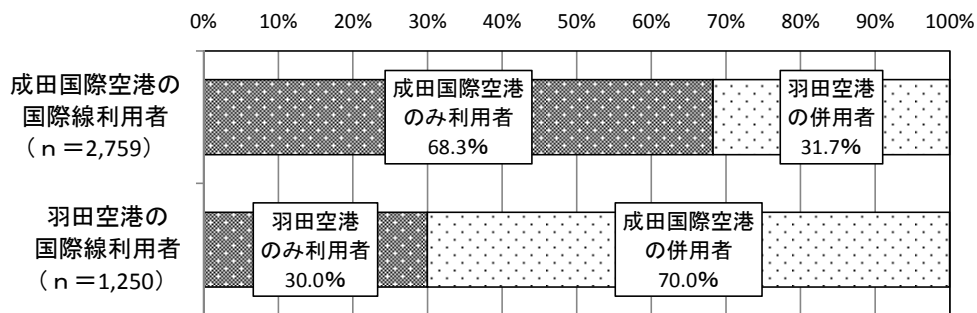
#### (7) 国際線の併用状況

成田国際空港の国際線利用者のうち「成田国際空港のみ利用者」は 68.3%と「羽田空港の併用者(31.7%)」より高くなっている(図表 28)。一方、羽田空港の国際線利用者のうち「羽田空港のみ利用者」は 30.0%と「成田国際空港の併用者(70.0%)」より低水準となっている。

成田国際空港の国際線利用者で「羽田空港の併用者」の割合が高い属性をみると、性別では「男性(33.4%)」、年齢層別では「60～69 歳(36.0%)」、居住地別では「中国(41.5%)」、関東地域では「神奈川県(38.2%)」、職業別では「自営業(36.1%)」となっている(図表 29)。

一方、羽田空港の国際線利用者で「羽田空港のみ利用者」の割合が高い属性は、性別では「女性(30.6%)」、年齢層別では「20～29 歳(34.2%)」、居住地別では「四国(70.0%)」、関東地域では「栃木県(50.0%)」、職業別では「パート・アルバイト(36.1%)」となっている(図表 30)。

図表 28 成田国際空港と羽田空港の国際線の併用状況



【数表】成田国際空港と羽田空港の国際線の併用状況 (合計・地域・関東)

(単位: 人)	成田国際空港のみ利用者	併用者	羽田空港のみ利用者
北海道	60	38	16
東北	84	20	10
関東	1,213	613	211
東京都	484	286	92
神奈川県	256	158	61
千葉県	197	69	19
埼玉県	159	73	25
茨城県	53	14	4
栃木県	35	7	7
群馬県	29	6	3
中部	200	71	31
近畿	207	79	51
中国	24	17	16
四国	20	3	7
九州・沖縄	76	34	33
合計	1,884	875	375

図表 29 成田国際空港の国際線利用状況(成田空港のみ利用者・羽田空港の併用者別)

(単位:人、%)

		成田空港の国際線利用者				羽田空港の併用者	
		成田空港のみ利用者	単独利用割合(%)	併用割合(%)			
回答件数		2,759	1,884	68.3	875	31.7	
性別	男性	1,452	967	66.6	485	33.4	
	女性	1,307	917	70.2	390	29.8	
年齢層別	20～29歳	478	334	69.9	144	30.1	
	30～39歳	411	302	73.5	109	26.5	
	40～49歳	550	382	69.5	168	30.5	
	50～59歳	650	437	67.2	213	32.8	
	60～69歳	670	429	64.0	241	36.0	
居住地別	北海道	98	60	61.2	38	38.8	
	東北	104	84	80.8	20	19.2	
	関東	1,826	1,213	66.4	613	33.6	
	茨城県	67	53	79.1	14	20.9	
	栃木県	42	35	83.3	7	16.7	
	群馬県	35	29	82.9	6	17.1	
	埼玉県	232	159	68.5	73	31.5	
	千葉県	266	197	74.1	69	25.9	
	東京都	770	484	62.9	286	37.1	
	神奈川県	414	256	61.8	158	38.2	
	中部	271	200	73.8	71	26.2	
	近畿	286	207	72.4	79	27.6	
	中国	41	24	58.5	17	41.5	
	四国	23	20	87.0	3	13.0	
九州・沖縄	110	76	69.1	34	30.9		
職業別	会社勤務	1,061	710	66.9	351	33.1	
	自営業	208	133	63.9	75	36.1	
	パート・アルバイト	268	183	68.3	85	31.7	
	公務員等	188	129	68.6	59	31.4	
	専業主婦	548	406	74.1	142	25.9	
	学生	146	99	67.8	47	32.2	
	無職	265	176	66.4	89	33.6	
	その他	75	48	64.0	27	36.0	

図表 30 羽田空港の国際線利用状況(羽田空港のみ利用者・成田国際空港の併用者別)

(単位:人、%)

		羽田空港の 国際線 利用者	羽田空港 のみ利用者		成田空港の 併用者	併用割合 (%)
				単独利用 割合(%)		
回答件数		1,250	375	30.0	875	70.0
性別	男性	688	203	29.5	485	70.5
	女性	562	172	30.6	390	69.4
年齢層別	20～29歳	219	75	34.2	144	65.8
	30～39歳	142	33	23.2	109	76.8
	40～49歳	240	72	30.0	168	70.0
	50～59歳	297	84	28.3	213	71.7
	60～69歳	352	111	31.5	241	68.5
居住地別	北海道	54	16	29.6	38	70.4
	東北	30	10	33.3	20	66.7
	関東	824	211	25.6	613	74.4
	茨城県	18	4	22.2	14	77.8
	栃木県	14	7	50.0	7	50.0
	群馬県	9	3	33.3	6	66.7
	埼玉県	98	25	25.5	73	74.5
	千葉県	88	19	21.6	69	78.4
	東京都	378	92	24.3	286	75.7
	神奈川県	219	61	27.9	158	72.1
	中部	102	31	30.4	71	69.6
	近畿	130	51	39.2	79	60.8
	中国	33	16	48.5	17	51.5
	四国	10	7	70.0	3	30.0
九州・沖縄	67	33	49.3	34	50.7	
職業別	会社勤務	503	152	30.2	351	69.8
	自営業	103	28	27.2	75	72.8
	パート・アルバイト	133	48	36.1	85	63.9
	公務員等	82	23	28.0	59	72.0
	専業主婦	197	55	27.9	142	72.1
	学生	68	21	30.9	47	69.1
	無職	127	38	29.9	89	70.1
	その他	37	10	27.0	27	73.0

### (イ) 国内線の併用状況

成田国際空港のみ利用者のなかで、成田国際空港の国内線も併用している割合は19.5%、「羽田空港の国内線のみ利用したことがある」のは69.5%となっている(図表31)。一方、羽田空港のみ利用者のなかで、羽田空港の国内線も併用している割合は45.3%、「成田国際空港の国内線のみ利用したことがある」のは3.2%となっている。

両港の国際線を併用している利用者のなかで、国内線を併用している割合をみると、羽田空港は81.8%と成田国際空港(41.6%)のおよそ2倍となっている。

図表 31 成田国際空港と羽田空港の国内線の併用状況

(単位:人、%)

		合計	成田国際空港のみ利用者	羽田空港のみ利用者	両港の併用者	両港の利用なし
回答件数		11,838 (100.0%)	1,884 (15.9%)	375 (3.2%)	875 (7.4%)	8,704 (73.5%)
成田国際空港の 利用状況	国際線を利用したことがある	23.3	100.0	0.0	100.0	0.0
	うち国際線・国内線を利用	6.2	19.5	0.0	41.6	0.0
	うち国際線のみ利用	17.1	80.5	0.0	58.4	0.0
	国内線のみ利用したことがある	1.2	0.0	3.2	0.0	1.5
	観光目的で利用したことがある	0.9	0.0	2.4	0.0	1.1
	利用したことがない	74.6	0.0	94.4	0.0	97.4
羽田空港の 利用状況	国際線を利用したことがある	10.6	0.0	100.0	100.0	0.0
	うち国際線・国内線を利用	7.5	0.0	45.3	81.8	0.0
	うち国際線のみ利用	3.1	0.0	54.7	18.2	0.0
	国内線のみ利用したことがある	27.8	69.5	0.0	0.0	22.7
	観光目的で利用したことがある	1.3	2.1	0.0	0.0	1.3
	利用したことがない	60.4	28.3	0.0	0.0	76.0

(注) かつこ内は回答件数に占める割合。

## (2) 成田国際空港・羽田空港利用実態調査

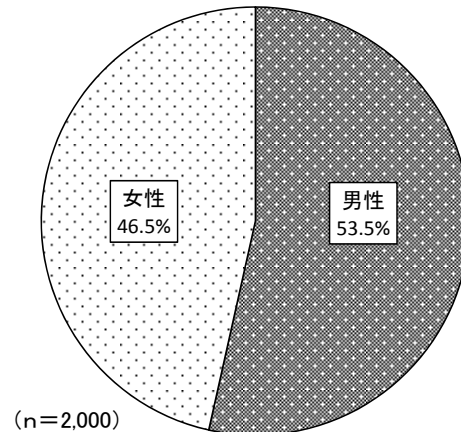
集計対象：過去1年間に成田国際空港及び羽田空港を利用したことのある人  
 (成田国際空港利用者 1,000人 + 羽田空港利用者 1,000人 = 合計 2,000人)

### 1) 回答者の属性

#### ① 性別

回答者の性別は、「男性」が53.5%、「女性」が46.5%となっている(図表32)。

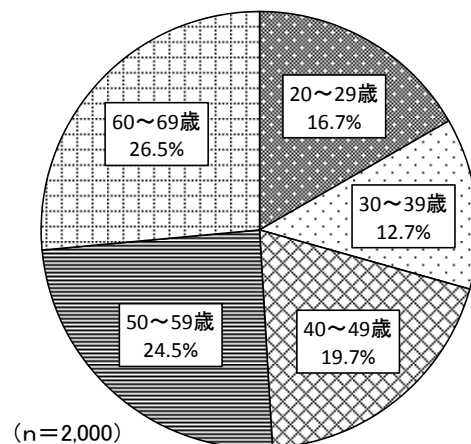
図表 32 性別(SA)



#### ② 年齢層

回答者の年齢層は、「60～69歳」が26.5%と最も高く、次いで「50～59歳(24.5%)」、「40～49歳(19.7%)」、「20～29歳(16.7%)」、「30～39歳(12.7%)」となっている(図表33)。

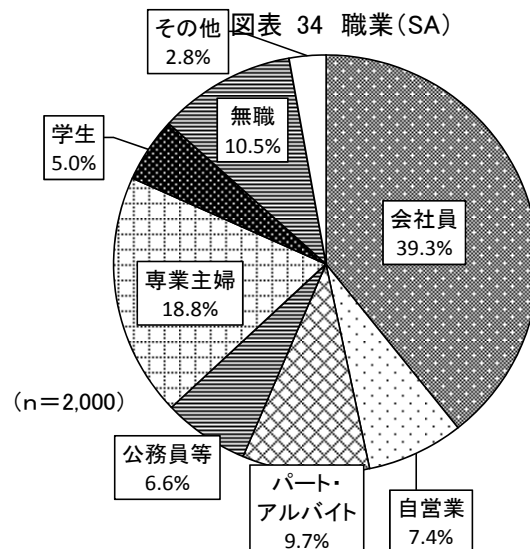
図表 33 年齢層(SA)



#### ③ 職業

回答者の職業は、「会社員」が39.3%と最も高く、次いで「専業主婦(18.8%)」、「無職(10.5%)」、「パート・アルバイト(9.7%)」、「自営業(7.4%)」、「公務員等(6.6%)」、「学生(5.0%)」となっている(図表34)。

図表 34 職業(SA)

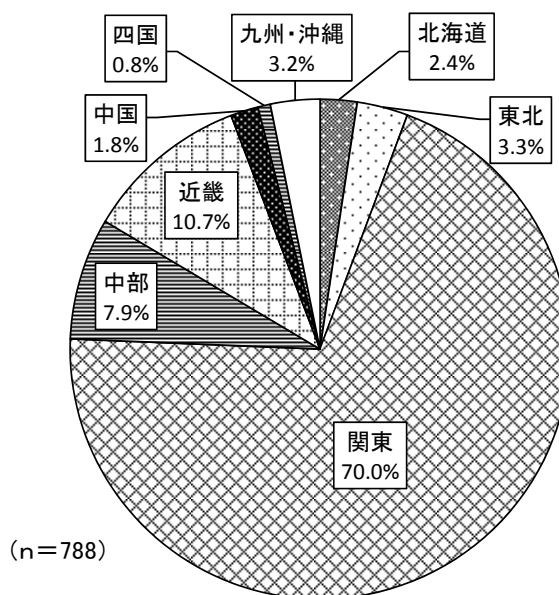


#### ④ 会社の所在地

職業を「会社員」と回答した788人の会社の所在地を地域別にみると、「関東」が70.0%と最も高く、次いで「近畿（10.7%）」、「中部（7.9%）」、「東北（3.3%）」などとなっている（図表35）。

都道府県別にみると、「東京都（46.1%）」が最も高く、次いで「神奈川県（11.5%）」、「大阪府（6.3%）」、「千葉県（4.3%）」などとなっている（図表36）。

図表 35 会社の所在地域(SA)



図表 36 会社所在地(都道府県)

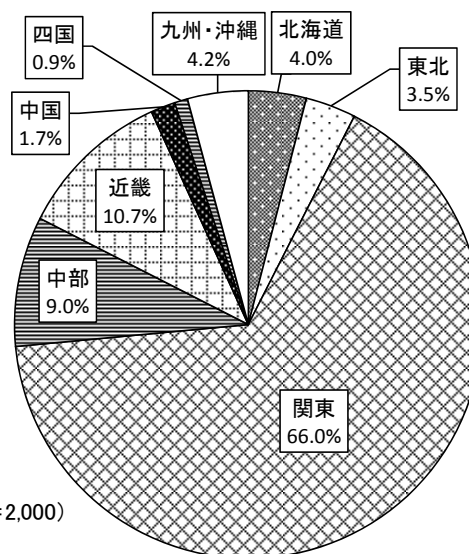
都道府県名	件数	割合 (%)	都道府県名	件数	割合 (%)
北海道	19	2.4	滋賀県	2	0.3
青森県	4	0.5	京都府	5	0.6
岩手県	3	0.4	大阪府	50	6.3
宮城県	5	0.6	兵庫県	14	1.8
秋田県	4	0.5	奈良県	4	0.5
山形県	5	0.6	和歌山県	3	0.4
福島県	5	0.6	鳥取県	0	0.0
茨城県	15	1.9	島根県	1	0.1
栃木県	10	1.3	岡山県	5	0.6
群馬県	9	1.1	広島県	7	0.9
埼玉県	30	3.8	山口県	1	0.1
千葉県	34	4.3	徳島県	1	0.1
東京都	363	46.1	香川県	2	0.3
神奈川県	91	11.5	愛媛県	3	0.4
新潟県	6	0.8	高知県	0	0.0
富山県	2	0.3	福岡県	12	1.5
石川県	1	0.1	佐賀県	2	0.3
福井県	0	0.0	長崎県	1	0.1
山梨県	5	0.6	熊本県	2	0.3
長野県	4	0.5	大分県	3	0.4
岐阜県	4	0.5	宮崎県	0	0.0
静岡県	10	1.3	鹿児島県	1	0.1
愛知県	30	3.8	沖縄県	4	0.5
三重県	6	0.8	合計	788	100.0

### ⑤ 居住地

回答者の居住地を地域別にみると、「関東」が66.0%と最も高く、次いで「近畿(10.7%)」、「中部(9.0%)」、「九州・沖縄(4.2%)」、「北海道(4.0%)」などとなっている(図表37)。

都道府県別にみると、「東京都(29.4%)」が最も高く、次いで「神奈川県(15.6%)」、「千葉県(9.1%)」などとなっている(図表38)。

図表 37 居住地域(SA)



図表 38 居住地域[都道府県](SA)

都道府県名	回答件数	割合 (%)	都道府県名	回答件数	割合 (%)
北海道	80	4.0	滋賀県	13	0.7
青森県	8	0.4	京都府	22	1.1
岩手県	5	0.3	大阪府	88	4.4
宮城県	22	1.1	兵庫県	51	2.6
秋田県	9	0.5	奈良県	16	0.8
山形県	10	0.5	和歌山県	8	0.4
福島県	16	0.8	鳥取県	1	0.1
茨城県	38	1.9	島根県	0	0.0
栃木県	30	1.5	岡山県	10	0.5
群馬県	18	0.9	広島県	16	0.8
埼玉県	154	7.7	山口県	7	0.4
千葉県	182	9.1	徳島県	3	0.2
東京都	587	29.4	香川県	6	0.3
神奈川県	311	15.6	愛媛県	8	0.4
新潟県	21	1.1	高知県	1	0.1
富山県	6	0.3	福岡県	45	2.3
石川県	7	0.4	佐賀県	5	0.3
福井県	3	0.2	長崎県	4	0.2
山梨県	16	0.8	熊本県	7	0.4
長野県	24	1.2	大分県	7	0.4
岐阜県	8	0.4	宮崎県	6	0.3
静岡県	34	1.7	鹿児島県	4	0.2
愛知県	61	3.1	沖縄県	6	0.3
三重県	16	0.8	合計	2,000	100.0



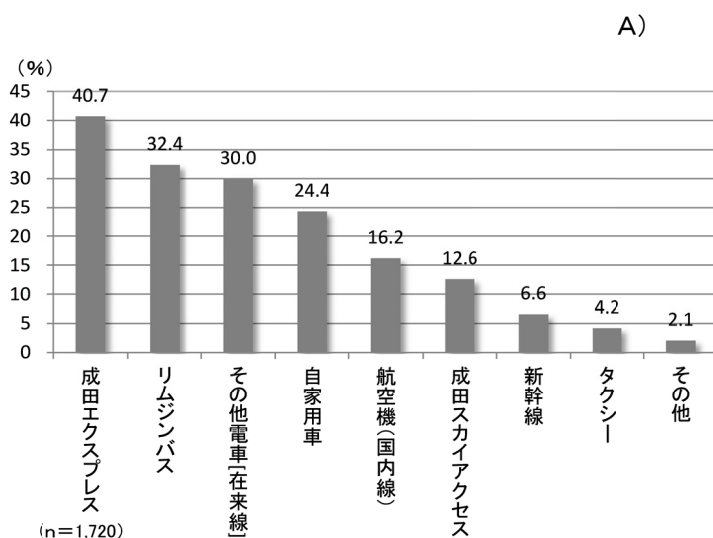
## 2) 成田国際空港の利用状況

### ① 成田国際空港までのアクセス

#### a. 全体

成田国際空港までのアクセス（複数回答可）は、「成田エクスプレス」が40.7%と最も高く、次いで「リムジンバス（32.4%）」、「その他電車[在来線]（30.0%）」などとなっている（図表39）。

地方からの一次交通をみると、「航空機（国内線）」が16.2%と「新幹線（6.6%）」を上回っている。



なお、成田国際空港株式会社（N A A）が毎年実施している「アクセス交通実態調査（下記参照）」と比べると、本調査における成田エクスプレスと成田スカイアクセスの乖離が大きくなっているが、その理由としては以下の点が考えられる。

- ① 「成田スカイアクセス」という本調査の選択肢に対する回答者の認識度が低かった可能性があること（N A Aの調査では「京成スカイライナー（成田スカイアクセス線経由）」としている）。
- ② 本調査は、過去1年間に成田国際空港を利用した際（複数回も含む）の交通機関全てを回答させているのに対し、N A A調査では調査日（1日）の来訪時に最後に利用した交通機関のみを聞いているなど両調査の前提が異なっていること。

（参考）成田国際空港株式会社調査によるアクセス実態は以下の通り。

#### ◆出発旅客のアクセス交通実態調査

	人数(人)	構成比(%)
交通手段	20,515	44.4
JR	8,390	18.1
内NEX	6,592	14.3
京成電鉄	12,125	26.2
内スカイライナー	4,772	10.2
自動車類	23,235	50.2
バス類	16,961	36.7
内空港直行バス	7,992	17.3
内マイクロバス	3,184	6.9
乗用車類	6,031	13.0
貨物車類	243	0.5
国内航空機	2,496	5.4
その他	2	0.0

（注）1. 出所：成田国際空港株式会社「2011成田空港ハンドブック」

2. 交通手段については、ゲート通過時に把握した。

3. 本調査は1日のみの調査結果を集計。

b. 居住地域別アクセス（1次・2次交通機関別）

成田国際空港までの居住地域別の主要なアクセス方法（回答率が20%以上の項目を掲載）を1次交通機関・2次交通機関別にまとめると以下の通り（図表40、41）。

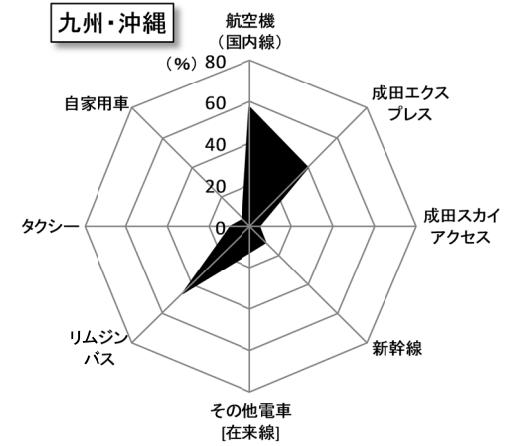
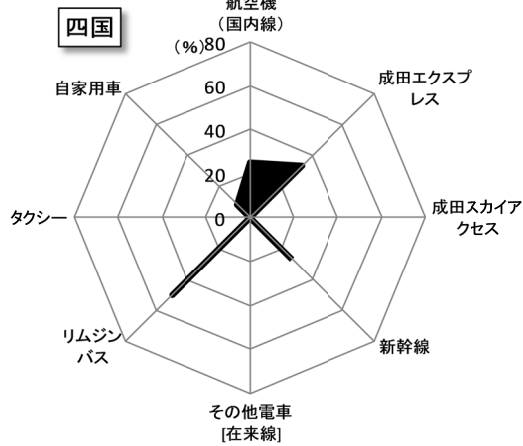
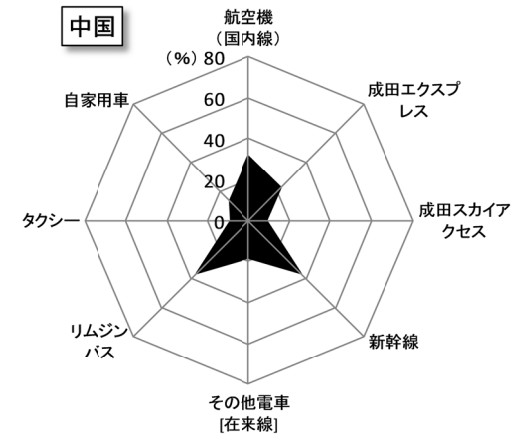
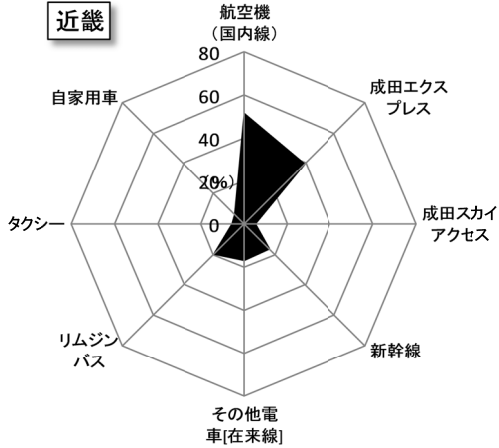
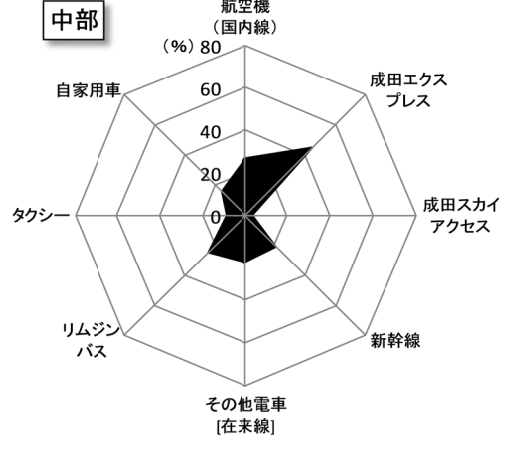
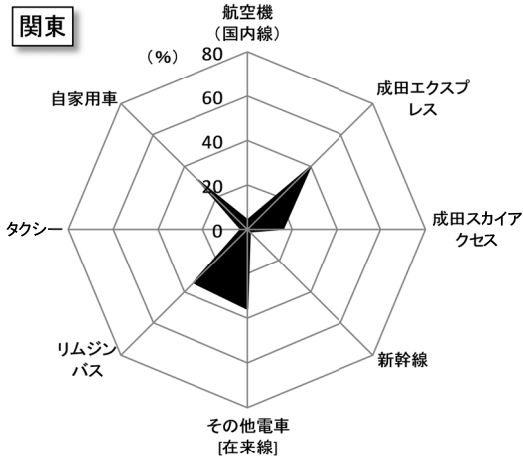
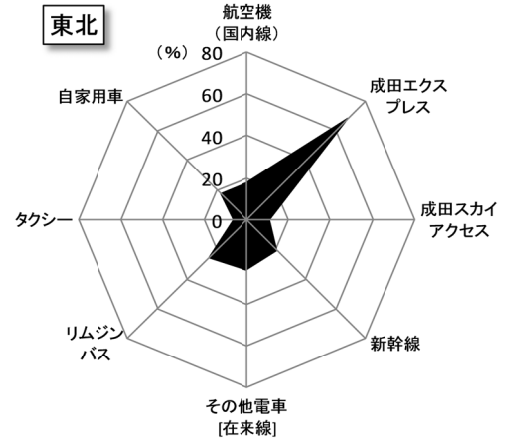
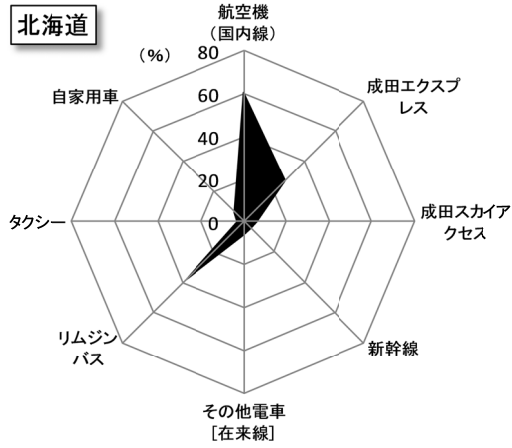
図表 40 成田国際空港へのアクセス(居住地域別)

	1次交通機関	割合	2次交通機関	割合
北海道	航空機（国内線）	60.6%	リムジンバス	37.9%
			成田エクスプレス	27.3%
東北	新幹線	20.6%	成田エクスプレス	68.3%
			リムジンバス	25.4%
			その他電車〔在来線〕	23.8%
関東	成田エクスプレス	40.0%		
	その他電車〔在来線〕	36.2%		
	リムジンバス	34.4%		
	自家用車	31.2%		
中部	航空機（国内線）	26.8%	成田エクスプレス	45.2%
	新幹線	21.0%	リムジンバス	24.8%
			その他電車〔在来線〕	22.3%
近畿	航空機（国内線）	51.4%	成田エクスプレス	39.5%
中国	新幹線	36.4%	リムジンバス	36.4%
	航空機（国内線）	31.8%	成田エクスプレス	22.7%
四国	航空機（国内線）	25.0%	リムジンバス	50.0%
	新幹線	25.0%	成田エクスプレス	33.3%
九州・ 沖縄	航空機（国内線）	57.1%	リムジンバス	46.0%
			成田エクスプレス	39.7%

(注) 1. 複数回答可につき合計は100%にならない。

2. 回答のあったアクセス経路のうち、最初に利用したと思われる交通機関を「1次交通機関」、その後、乗換等で利用したと思われる交通機関を「2次交通機関」と定義して集計した。

図表 41 成田国際空港までのアクセス(居住地域別)



### c. 成田エクスプレスと成田スカイアクセスの利用者の居住地

成田エクスプレスと成田スカイアクセスの利用者の居住地をみると、東京圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）に居住している回答者は、成田エクスプレスが57.6%、成田スカイアクセスが77.5%となっている（図表42）。

東京圏のうち、①東京都（うち23区）、②埼玉県（うちさいたま市以東）、③千葉県（うち東葛地域）の合計のシェアをみると、成田スカイアクセスは49.0%と成田エクスプレス(28.4%)より圧倒的に多くなっている。

図表 42 成田エクスプレスと成田スカイアクセスの利用者の居住地

（単位：％）

	成田 エクスプレス	成田 スカイアクセス
回答件数(件)	700	216
東京圏	57.6	77.5
東京都	30.7	43.1
うち23区(A)	22.3	30.4
神奈川県	15.2	8.8
埼玉県	7.4	15.7
うちさいたま市以東(B)	4.0	10.8
千葉県	4.3	9.8
うち東葛地域(C)	2.0	7.8
東京圏以外	42.4	22.5
(A+B+C)	28.4	49.0

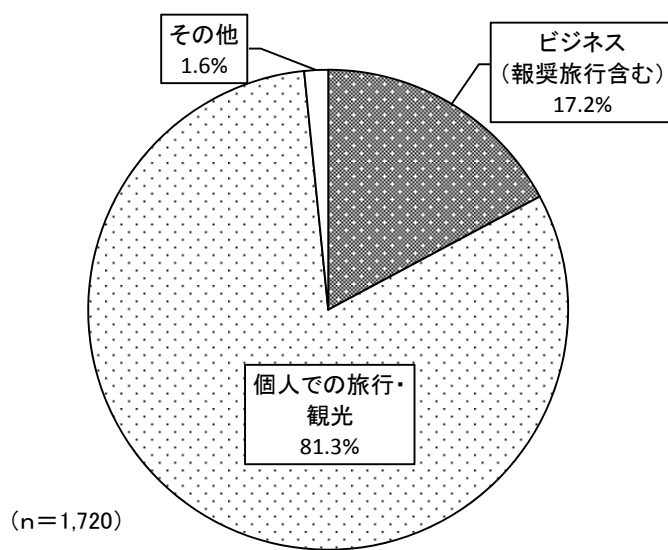
## ② 成田国際空港の利用目的

成田国際空港の利用目的をみると、「個人での旅行・観光」が 81.3%と圧倒的に高く、「ビジネス(報奨旅行含む)」は 17.2%となっている(図表 43)。

「ビジネス(報奨旅行含む)」と答えた回答者の割合が高いカテゴリーを属性別にみると、性別には「男性(28.8%)」、年齢層別には「40～49 歳(25.1%)」、職業別には「会社員(30.4%)」、居住地域別には「近畿(25.4%)」となっている(図表 44)。

一方、「個人での旅行・観光」と答えた回答者の割合が高いカテゴリーを属性別にみると、性別には「女性(95.2%)」、年齢層別には「20～29 歳(88.6%)」、職業別には「専業主婦(97.6%)」、居住地域別には「四国(100.0%)」となっている。

図表 43 成田国際空港の利用目的(SA)



図表 44 成田国際空港の利用目的(属性別)

(単位:%)

		回答件数	ビジネス (報奨旅行含む)	個人での 旅行・観光	その他
全 体		1,720	17.2	81.3	1.6
性 別	男性	923	28.8	71.1	0.1
	女性	797	4.3	95.2	0.5
年 齢 層 別	20～29歳	272	10.7	88.6	0.7
	30～39歳	229	17.5	82.5	0.0
	40～49歳	346	25.1	74.9	0.0
	50～59歳	427	21.8	78.2	0.0
	60～69歳	446	11.4	87.9	0.7
職 業 別	会社員	665	30.4	69.6	0.0
	自営業	130	20.8	79.2	0.0
	パート・アルバイト	158	5.7	93.7	0.6
	公務員等	116	15.5	84.5	0.0
	専業主婦	336	2.1	97.6	0.3
	学生	84	4.8	92.9	2.4
	無職	184	12.5	87.0	0.5
	その他	47	21.3	78.7	0.0
居 住 地 域 別	北海道	66	12.1	87.9	0.0
	東北	63	23.8	76.2	0.0
	関東	1,160	15.7	84.1	0.3
	茨城県	36	16.7	83.3	0.0
	栃木県	25	32.0	64.0	4.0
	群馬県	16	18.8	81.3	0.0
	埼玉県	135	14.1	85.9	0.0
	千葉県	167	9.6	90.4	0.0
	東京都	517	14.3	85.7	0.0
	神奈川県	264	21.2	78.0	0.8
	中部	157	19.1	80.3	0.6
	近畿	177	25.4	74.0	0.6
	中国	22	22.7	77.3	0.0
	四国	12	0.0	100.0	0.0
九州・沖縄	63	23.8	76.2	0.0	

### ③ 成田国際空港の航空需要が羽田空港にシフトする可能性

#### a. 今後の利用意向

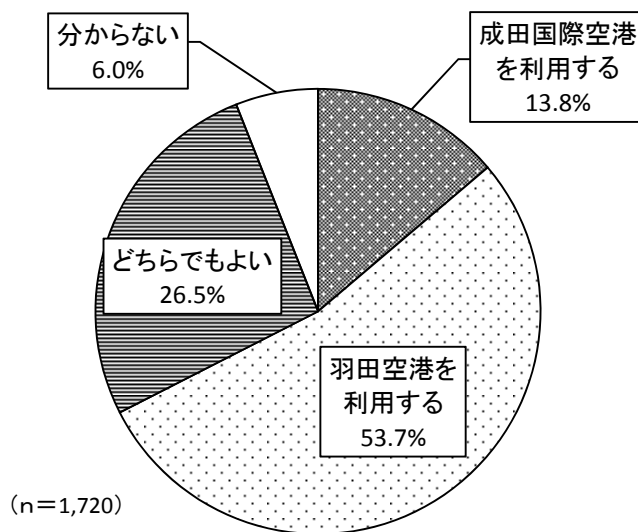
##### (7) 全体

過去1年間に成田国際空港から渡航したことがある目的地に羽田空港の路線が就航(増便含む)した場合、次回はどちらを利用するかを聞いたところ、53.7%の回答者が「羽田空港を利用する」と回答した(図表 45)。一方、「成田国際空港を利用する」と回答したのは 13.8%に留まり、「どちらでもよい」は 26.5%、「分からない」は 6.0%であった。

「羽田空港を利用する」と答えた回答者の割合が高いカテゴリーを属性別にみると、性別には「男性(55.5%)」、年齢層別には「60～69 歳(61.0%)」、職業別には「公務員等(60.3%)」、居住地域別には「関東(56.3%)」となっている(図表 46)。

関東を都県別にみると、「羽田空港を利用する」と答えた割合は、神奈川県が 76.9%と最も高く、次いで「東京都(64.0%)」、「埼玉県(58.5%)」となっている。一方、「成田空港を利用する」と答えた割合では、千葉県が 49.7%と「羽田空港を利用する(12.6%)」を上回っている。また、茨城県でも「成田空港を利用する」が 36.1%と「羽田空港を利用する(8.3%)」を上回っている。

図表 45 成田国際空港の利用者の今後の利用意向(SA)



図表 46 成田国際空港の利用者の今後の利用意向(属性別)

(単位:%)

		回答件数	成田国際空港 を利用する	羽田空港を利 用する	どちらでもよい	分からない
全体		1,720	13.8	53.7	26.5	6.0
性別	男性	923	13.3	55.5	27.0	4.2
	女性	797	14.4	51.7	25.8	8.0
年齢別	20～29歳	272	15.8	40.8	33.8	9.6
	30～39歳	229	14.4	50.2	30.1	5.2
	40～49歳	346	14.5	53.5	26.9	5.2
	50～59歳	427	12.6	56.4	24.4	6.6
	60～69歳	446	13.0	61.0	21.7	4.3
職業別	会社員	665	14.6	54.6	26.8	4.1
	自営業	130	13.8	51.5	28.5	6.2
	パート・アルバイト	158	14.6	54.4	21.5	9.5
	公務員等	116	10.3	60.3	25.0	4.3
	専業主婦	336	14.6	52.7	25.6	7.1
	学生	84	17.9	34.5	36.9	10.7
	無職	184	9.8	58.2	23.9	8.2
	その他	47	12.8	53.2	34.0	0.0
居住地別	北海道	66	10.6	54.5	30.3	4.5
	東北	63	14.3	44.4	28.6	12.7
	関東	1,160	16.0	56.3	24.3	3.4
	茨城県	36	36.1	8.3	47.2	8.3
	栃木県	25	20.0	36.0	32.0	12.0
	群馬県	16	6.3	43.8	50.0	0.0
	埼玉県	135	10.4	58.5	27.4	3.7
	千葉県	167	49.7	12.6	34.7	3.0
	東京都	517	10.3	64.0	22.4	3.3
	神奈川県	264	6.4	76.9	14.4	2.3
	中部	157	8.3	49.7	28.0	14.0
	近畿	177	8.5	44.1	33.9	13.6
	中国	22	13.6	50.0	31.8	4.5
四国	12	0.0	50.0	41.7	8.3	
九州・沖縄	63	7.9	54.0	30.2	7.9	



### (イ) 成田国際空港のみ利用者・羽田空港の併用者別

「羽田空港を利用する」と回答した者のなかで、成田国際空港のみ利用者と羽田空港の併用者を年齢・居住地域別にみると、年齢別には、羽田空港の併用者の「60～69歳」が67.8%と最も高くなっている。居住地域別には、羽田空港の併用者で「神奈川県(80.5%)」、「東京都(71.1%)」の水準が際立って高いほか、成田国際空港のみ利用者の「九州・沖縄(55.6%)」や「北海道(54.5%)」も高い(図表47)。

一方、「どちらでもよい」と回答した人を同様にみると、年齢別には、成田空港のみ利用者の「20～29歳」が39.5%と最も高く、居住地域別には、羽田空港の併用者の「群馬県(80.0%)」や「茨城県(66.7%)」の水準が際立って高いことが目立った。

図表 47 「羽田空港を利用する」及び「どちらでもよい」と回答した者の特徴

羽田空港を利用する				どちらでもよい				
(単位: %)				(単位: %)				
	合計	成田国際空港のみ利用者	羽田空港の併用者		合計	成田国際空港のみ利用者	羽田空港の併用者	
全体	53.7	49.4	59.7	全体	26.5	28.8	23.3	
年齢別	20～29歳	40.8	33.8	50.4	20～29歳	33.8	39.5	26.1
	30～39歳	50.2	50.7	49.4	30～39歳	30.1	26.4	36.0
	40～49歳	53.5	50.7	57.4	40～49歳	26.9	31.7	19.9
	50～59歳	56.4	51.6	63.4	50～59歳	24.4	27.4	20.0
	60～69歳	61.0	55.3	67.8	60～69歳	21.7	22.1	21.3
居住地域別	北海道	54.5	54.5	54.5	北海道	30.3	36.4	24.2
	東北	44.4	44.7	43.8	東北	28.6	29.8	25.0
	関東	56.3	50.1	64.1	関東	24.3	27.1	20.8
	茨城県	8.3	8.3	8.3	茨城県	47.2	37.5	66.7
	栃木県	36.0	33.3	42.9	栃木県	32.0	27.8	42.9
	群馬県	43.8	54.5	20.0	群馬県	50.0	36.4	80.0
	埼玉県	58.5	58.9	58.1	埼玉県	27.4	28.8	25.8
	千葉県	12.6	8.9	20.0	千葉県	34.7	33.0	38.2
	東京都	64.0	57.6	71.1	東京都	22.4	26.9	17.5
	神奈川県	76.9	73.5	80.5	神奈川県	14.4	19.1	9.4
	中部	49.7	45.6	57.4	中部	28.0	30.1	24.1
	近畿	44.1	48.2	36.5	近畿	33.9	30.7	39.7
	中国	50.0	50.0	50.0	中国	31.8	40.0	25.0
	四国	50.0	40.0	100.0	四国	41.7	50.0	0.0
九州・沖縄	54.0	55.6	51.9	九州・沖縄	30.2	30.6	29.6	

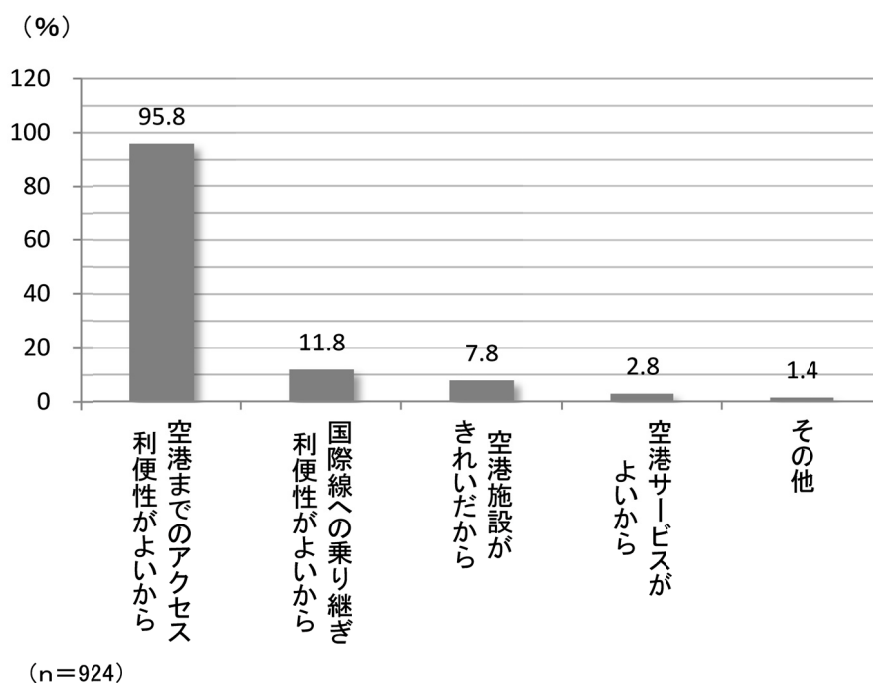
## b. 羽田空港を利用する理由

今後は「羽田空港を利用する」と答えた回答者 924 人に対し、羽田空港を利用する理由を聞いたところ、「空港までのアクセス利便性がよいから」が 95.8%と最も高く、次いで「国際線への乗り継ぎ利便性がよいから(11.8%)」、「空港施設がきれいだから(7.8%)」、「空港サービスがよいから(2.8%)」となっている(図表 48)。

「空港までのアクセス利便性がよいから」と答えた回答者の割合が高い項目を属性別にみると、居住地域別で「九州・沖縄(79.4%)」や「中国(81.8%)」、「北海道(86.1%)」などの遠隔地で8割前後となっているほかは、いずれの項目も9割以上となっている(図表 49)。

「国際線への乗り継ぎ利便性がよいから」の割合は、「北海道(47.2%)」や「九州・沖縄(47.1%)」、「中国(45.5%)」が約5割と他地域より高いことが目立つ。

図表 48 羽田空港を利用する理由(MA)



図表 49 羽田空港を利用する理由(属性別)

(単位:%)

		回答件数	空港までの アクセス利 便性がよい から	国際線への 乗り継ぎ利 便性がよい から	空港施設が きれいだけ から	空港サービ スがよいか ら	その他
全体		924	95.8	11.8	7.8	2.8	1.4
性別	男性	512	96.7	12.5	8.8	3.1	1.6
	女性	412	94.7	10.9	6.6	2.4	1.2
年齢	20～29歳	111	95.5	12.6	12.6	5.4	0.9
	30～39歳	115	93.0	10.4	8.7	2.6	2.6
	40～49歳	185	96.2	11.4	6.5	2.2	1.1
	50～59歳	241	96.3	13.7	8.3	2.9	0.8
	60～69歳	272	96.3	10.7	5.9	2.2	1.8
職業	会社員	363	96.4	12.1	9.4	2.2	0.8
	自営業	67	94.0	11.9	6.0	3.0	6.0
	パート・アルバイト	86	98.8	5.8	5.8	2.3	2.3
	公務員等	70	95.7	12.9	4.3	2.9	1.4
	専業主婦	177	92.1	11.9	8.5	4.0	1.1
	学生	29	93.1	10.3	10.3	6.9	0.0
	無職	107	98.1	15.0	4.7	0.9	0.9
	その他	25	100.0	12.0	12.0	8.0	0.0
居住地域	北海道	36	86.1	47.2	8.3	2.8	2.8
	東北	28	89.3	21.4	10.7	0.0	0.0
	関東	653	98.6	4.3	6.1	2.8	1.2
	茨城県	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	栃木県	9	88.9	11.1	11.1	11.1	0.0
	群馬県	7	100.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	埼玉県	79	98.7	3.8	10.1	2.5	0.0
	千葉県	21	100.0	0.0	4.8	0.0	0.0
	東京都	331	98.5	4.2	4.5	3.0	1.5
	神奈川県	203	99.0	4.9	6.9	2.5	1.5
	中部	78	92.3	23.1	10.3	3.8	3.8
	近畿	78	91.0	23.1	14.1	3.8	0.0
	中国	11	81.8	45.5	0.0	0.0	9.1
四国	6	100.0	16.7	33.3	0.0	0.0	
九州・沖縄	34	79.4	47.1	14.7	2.9	0.0	

### c. 羽田空港の利用意向が強い就航都市

今後は「羽田空港を利用する」と答えた割合を未就航の都市別にみると、「グアム」が91件と最も多く、次いで「フランクフルト(65件)」、「ローマ(58件)」、「シドニー(38件)」、「サイパン(31件)」となっている(図表50)。

羽田空港の利用意向が高い就航都市上位10位までのうち、「羽田空港を利用したい割合(羽田空港を利用したい就航都市/就航都市合計)」は7割以上となっている。

図表 50 未就航の都市別の羽田空港の利用意向

	就航都市名	A	B	A/(A+B)
		羽田空港を利用する	成田空港を利用する	羽田空港を利用する割合
		(件)	(件)	(%)
1	グアム	91	17	84.3
2	フランクフルト	65	10	86.7
3	ローマ	58	8	87.9
4	シドニー	38	5	88.4
5	サイパン	31	9	77.5
6	バンクーバー	30	5	85.7
7	ミラノ	29	1	96.7
8	アムステルダム	22	0	100.0
9	イスタンブール	21	1	95.5
10	シカゴ	21	9	70.0

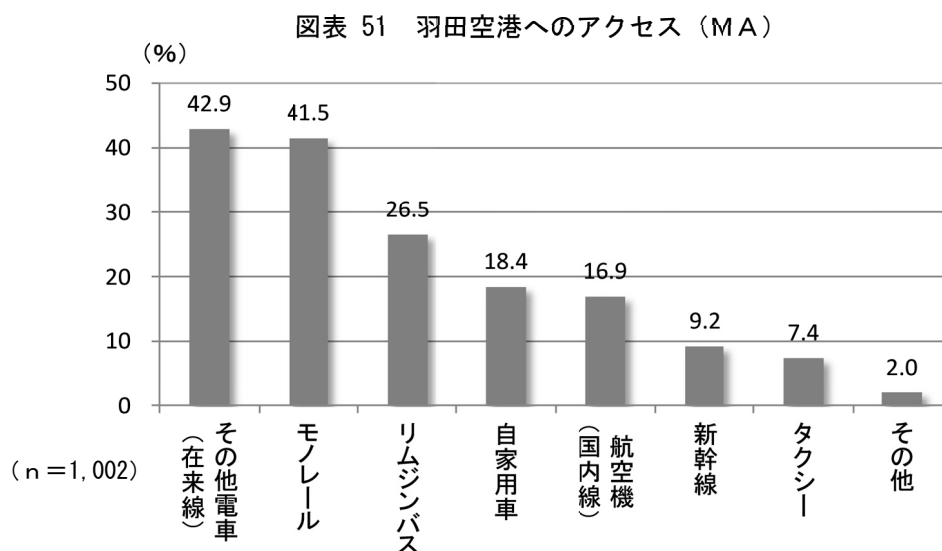
- (注) 1. アンケートで記載のあった全回答(一人5都市まで)を集計。  
 2. 2012年1月より羽田ーフランクフルト路線をANAが開設。

### 3) 羽田空港の利用状況

#### ① 羽田空港へのアクセス

羽田空港までのアクセスは、「その他電車（在来線）」が 42.9%と最も高く、次いで「モノレール（41.5%）」、「リムジンバス（26.5%）」となっている（図表 52）。地方からの一次交通をみると、「航空機（国内線）」が 16.9%と「新幹線（9.2%）」を上回っている。

居住地域別の1次交通機関・2次交通機関は図表 53 の通り。



図表 52 羽田空港へのアクセス(居住地別)

	1次交通	割合	2次交通	割合
北海道	航空機（国内線）	72.3%		
東北	航空機（国内線）	39.1%	モノレール	47.8%
	新幹線	26.1%	其他電車〔在来線〕	30.4%
関東			リムジンバス	26.1%
	其他電車〔在来線〕	52.4%		
	モノレール	40.7%		
	リムジンバス	30.8%		
中部	自家用車	22.8%		
	新幹線	33.8%	モノレール	51.9%
近畿			其他電車〔在来線〕	31.2%
	航空機（国内線）	49.0%	モノレール	40.0%
中国	新幹線	26.0%	其他電車〔在来線〕	24.0%
	航空機（国内線）	41.7%	モノレール	54.2%
四国	新幹線	33.3%	タクシー	20.8%
	航空機（国内線）	50.0%	モノレール	62.5%
九州・沖縄	新幹線	37.5%	リムジンバス	37.5%
	航空機（国内線）	54.2%	モノレール	33.3%
			リムジンバス	22.9%
			其他電車〔在来線〕	22.9%

(注) 1. 複数回答可につき合計は 100%にならない。

2. 空港までのアクセス経路のうち、最初に利用した交通機関を「1次交通機関」、その後、乗換等で利用した交通機関を「2次交通機関」とした。

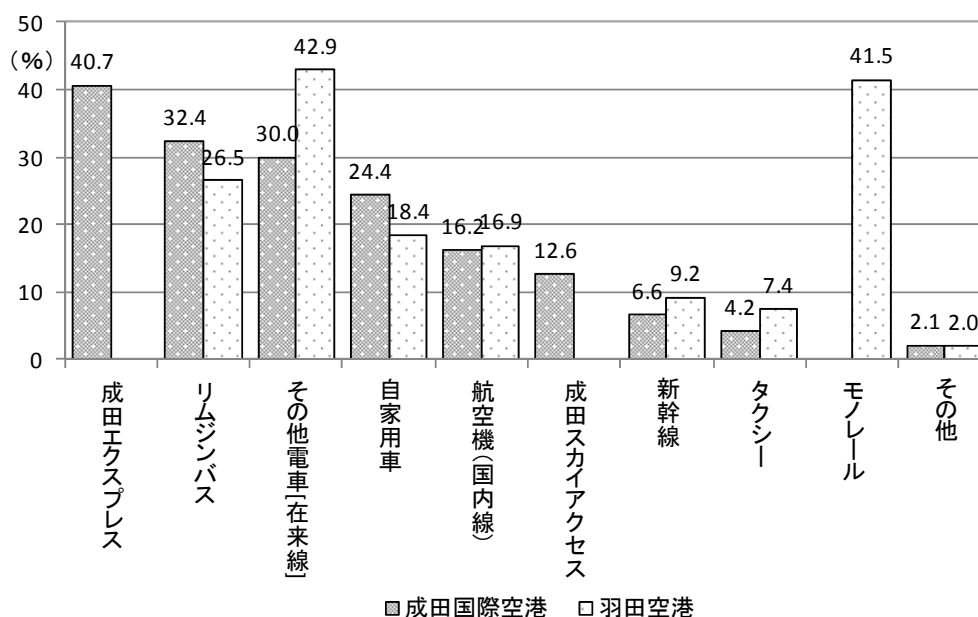
## ② 成田国際空港との比較

### a. 全体

成田国際空港と羽田空港のアクセスで差異が大きい<sup>注</sup>ものをみると、「その他電車[在来線]」が羽田空港は42.9%と成田国際空港(30.0%)より12.9ポイント高くなっているほか、「タクシー」、「新幹線」、「航空機(国内線)」も羽田空港の方が高い(図表54)。

一方、リムジンバスは、成田国際空港が32.4%と羽田空港(26.5%)より5.9ポイント高いほか、「自家用車」も成田国際空港の方が高くなっている。

図表 53 成田国際空港と羽田空港のアクセス比較



(注) 成田空港の降順に作成。

(注) 両港の比較ができない「成田エクスプレス」、「成田スカイアクセス」、「モノレール」は除くベース。

## b. 航空機（国内線）と新幹線

航空機（国内線）を利用した両空港へのアクセスを地域別にみると、「四国」では、成田国際空港が25.0%と羽田空港（50.0%）の1/2に留まっているほか、「東北」、「北海道」、「中国」でも羽田空港の割合が成田国際空港より高くなっている（図表55）。

一方、新幹線を利用したアクセスをみると、「関東」では、成田国際空港が36.2%と羽田空港（1.6%）より圧倒的に高くなっているほかは、「四国」や「中国」など羽田空港の割合が高い地域が大勢となっている。

図表 54 成田国際空港と羽田空港の違い（航空機（国内線）と新幹線）

（単位：％）

	航空機（国内線）			新幹線		
	成田国際空港（A）	羽田空港（B）	差異（A－B）	成田国際空港（A）	羽田空港（B）	差異（A－B）
全 体	16.2	16.9	▲ 0.7	30.0	9.2	20.8
北 海 道	60.6	72.3	▲ 11.7	6.1	14.9	▲ 8.8
東 北	17.5	39.1	▲ 21.6	23.8	26.1	▲ 2.3
関 東	4.2	3.9	0.3	36.2	1.6	34.6
中 部	26.8	14.3	12.5	22.3	33.8	▲ 11.5
近 畿	51.4	49.0	2.4	16.9	26.0	▲ 9.1
中 国	31.8	41.7	▲ 9.9	18.2	33.3	▲ 15.1
四 国	25.0	50.0	▲ 25.0	0.0	37.5	▲ 37.5
九州・沖縄	57.1	54.2	2.9	12.7	10.4	2.3

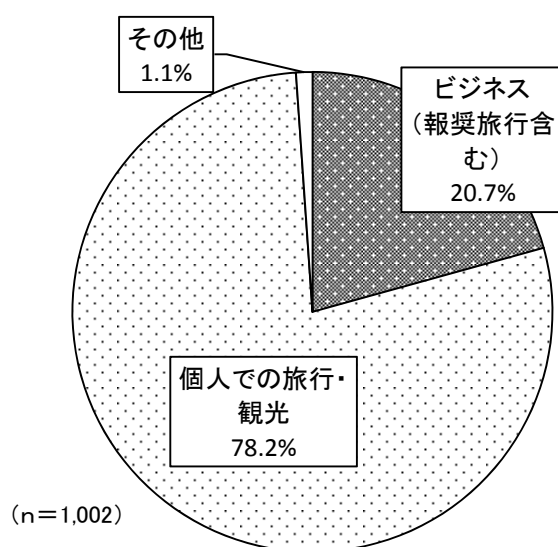
### ③ 羽田空港の利用目的

羽田空港の利用目的をみると、「個人での旅行・観光」が 78.2%と圧倒的に高く、「ビジネス(報奨旅行含む)」は 20.7%となっている(図表 56)。

「ビジネス(報奨旅行含む)」と答えた回答者の割合が高いカテゴリーを属性別にみると、性別には「男性(32.9%)」、年齢層別には「30～39 歳(32.5%)」、職業別には「会社員(33.6%)」、居住地域別には「中国(29.2%)」となっている(図表 57)。

一方、「個人での旅行・観光」と答えた回答者の割合が高いカテゴリーを属性別にみると、性別には「女性(93.4%)」、年齢層別には「60～69 歳(87.0%)」、職業別には「専業主婦(97.4%)」、居住地域別には「四国(100.0%)」となっている。

図表 55 羽田空港の利用目的(SA)





図表 56 羽田空港の利用目的(属性別)

(単位:%)

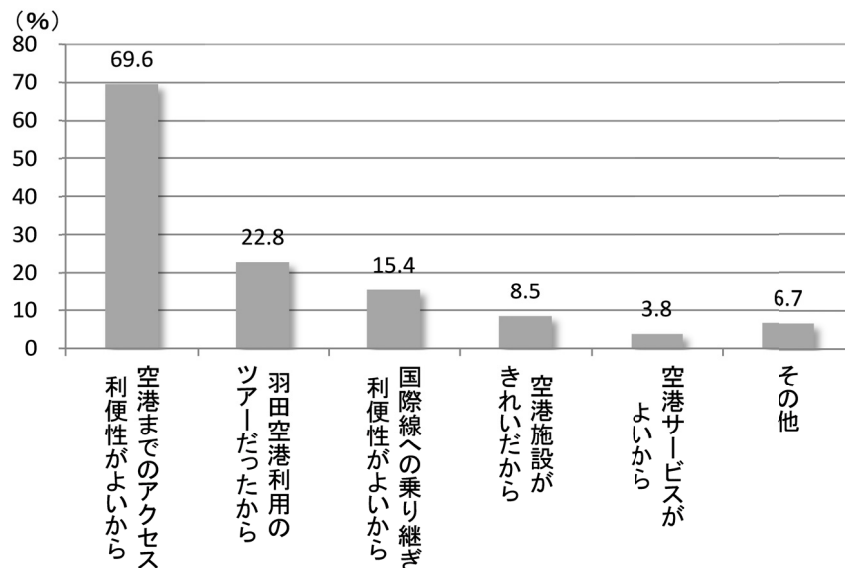
		回答件数	ビジネス (報奨旅行含む)	個人での 旅行・観光	その他
全体		1,002	20.7	78.2	1.1
性別	男性	550	32.9	65.8	1.3
	女性	452	5.8	93.4	0.9
年齢	20～29歳	177	11.3	85.9	2.8
	30～39歳	114	32.5	66.7	0.9
	40～49歳	189	28.6	70.4	1.1
	50～59歳	237	25.3	73.8	0.8
	60～69歳	285	12.6	87.0	0.4
職業	会社員	420	33.6	65.2	1.2
	自営業	79	21.5	77.2	1.3
	パート・アルバイト	104	3.8	96.2	0.0
	公務員等	61	19.7	77.0	3.3
	専業主婦	155	2.6	97.4	0.0
	学生	54	9.3	87.0	3.7
	無職	97	17.5	81.4	1.0
	その他	32	21.9	78.1	0.0
居住地域	北海道	47	19.1	80.9	0.0
	東北	23	13.0	87.0	0.0
	関東	675	19.6	79.1	1.3
	茨城県	14	21.4	78.6	0.0
	栃木県	12	16.7	75.0	8.3
	群馬県	7	0.0	85.7	14.3
	埼玉県	81	22.2	77.8	0.0
	千葉県	70	12.9	84.3	2.9
	東京都	316	19.0	79.7	1.3
	神奈川県	175	22.9	76.6	0.6
	中部	77	24.7	72.7	2.6
	近畿	100	24.0	76.0	0.0
	中国	24	29.2	70.8	0.0
	四国	8	0.0	100.0	0.0
九州・沖縄	48	27.1	72.9	0.0	

#### ④ 羽田空港を利用した理由

羽田空港を利用した理由は、「空港までのアクセス利便性がよいから」が 69.6%と最も高く、次いで「羽田空港利用のツアーだったから(22.8%)」、「国際線への乗り継ぎ利便性がよいから(15.4%)」、「空港施設がきれいだから(8.5%)」、「空港サービスがよいから(3.8%)」となっている(図表 58)。

「空港までのアクセス利便性がよいから」と答えた回答者の割合が高い項目を属性別にみると、性別には「男性(73.5%)」、年齢別には「60～69 歳(74.4%)」、職業別には「会社員(74.5%)」、居住地域別には「関東(76.6%)」となっている(図表 59)。また、「空港への乗り継ぎ利便性がよいから」を居住地域別にみると、「九州・沖縄(47.9%)」や「北海道(40.4%)」など遠隔地で高水準となっている。「羽田空港のツアーだったから」を男女別にみると女性が 30.8%と男性(16.2%)の約 2倍となっていることが目立つ。

図表 57 羽田空港を利用した理由(MA)



#### 【その他（抜粋）】

理由	居住地	職業	目的地
最終便が遅かったから	東京都	会社員	ソウル
出発時間帯が好都合だから	千葉県	会社員	パリ
早朝便だから	神奈川県	会社員	ミネアポリス
遅い仕事の後に出発できるから	神奈川県	会社員	香港
最終日の現地滞在時間が長くいられるから	神奈川県	専業主婦	ホノルル
目的地の空港が市街地にあるから	栃木県	会社員	台北
会社が手配したから	愛知県	会社員	ジャカルタ
学校で組まれた計画だから	愛知県	公務員等	ロサンゼルス
成田発の便よりも航空券が安かったから	東京都	学生	ソウル
空港までの交通費が安いから	北海道	無職	台北

図表 58 羽田空港を利用した理由(属性別)

(単位:%)

		回答件数	空港までの アクセス利 便性がよい から	国際線への 乗り継ぎ利 便性がよい から	空港施設が きれいだけ から	空港サービ スがよいか ら	羽田空港利 用のツアー だったから	その他
全体		924	69.6	15.4	8.5	3.8	22.8	6.7
性別	男性	512	73.5	16.0	7.8	4.2	16.2	8.5
	女性	412	64.8	14.6	9.3	3.3	30.8	4.4
年齢	20～29歳	111	65.5	20.3	10.2	5.1	20.9	5.6
	30～39歳	115	67.5	15.8	7.0	3.5	21.9	7.0
	40～49歳	185	67.2	14.3	8.5	4.2	18.5	8.5
	50～59歳	241	69.6	14.8	8.9	3.0	24.5	7.2
	60～69歳	272	74.4	13.3	7.7	3.5	25.6	5.6
職業	会社員	363	74.5	16.9	7.4	3.6	16.2	6.4
	自営業	67	65.8	15.2	11.4	2.5	20.3	5.1
	パート・アルバイト	86	62.5	10.6	7.7	5.8	35.6	4.8
	公務員等	70	65.6	9.8	8.2	1.6	24.6	9.8
	専業主婦	177	69.0	14.8	12.3	5.2	33.5	3.2
	学生	29	57.4	18.5	13.0	5.6	24.1	9.3
	無職	107	67.0	16.5	4.1	2.1	24.7	9.3
	その他	25	75.0	15.6	6.3	3.1	9.4	18.8
居住地域	北海道	36	61.7	40.4	19.1	10.6	23.4	4.3
	東北	28	65.2	30.4	0.0	0.0	26.1	4.3
	関東	653	76.6	7.3	7.3	2.8	22.2	7.3
	茨城県	14	50.0	7.1	0.0	0.0	35.7	7.1
	栃木県	12	75.0	16.7	8.3	8.3	25.0	16.7
	群馬県	7	14.3	14.3	0.0	0.0	71.4	0.0
	埼玉県	81	70.4	2.5	4.9	3.7	25.9	7.4
	千葉県	70	47.1	4.3	12.9	7.1	25.7	22.9
	東京都	316	82.0	7.3	7.6	1.6	21.2	6.0
	神奈川県	175	86.3	9.7	6.3	2.9	17.7	2.9
	中部	78	63.6	19.5	15.6	7.8	18.2	6.5
	近畿	78	50.0	31.0	6.0	3.0	26.0	5.0
中国	11	45.8	29.2	12.5	12.5	29.2	4.2	
四国	6	37.5	37.5	0.0	0.0	37.5	0.0	
九州・沖縄	34	47.9	47.9	12.5	4.2	22.9	8.3	



成田国際空港と羽田空港の利用状況に  
関するアンケート調査結果及び提言

2012年3月発行

株式会社ちばぎん総合研究所

〒263-0043 千葉県千葉市稲毛区小仲台 2-3-12  
電話 043(207)0621 FAX 043(207)0731